

公益財団法人 日本ソフトボール協会機関誌

# JSAソフトボール

2024年/令和6年  
第474号

7月号  
(毎月1回10日発行)

編集兼発行者 公益財団法人 日本ソフトボール協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square

T E L . 03-5843-0480 F A X . 03-5843-0485

編集部 ㈱日本体育社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13-501

T E L . 03-3811-6911 F A X . 03-3811-6290



令和6年度 男子TOP日本代表チーム選手選考会(2024.6.11~14/高知県高知市)

## C o n t e n t s

・女子TOP日本代表レポート.....2	・令和6年度第1回理事会議事録.....22
・男子TOP日本代表レポート.....6	・令和6年度第2回理事会議事録.....29
・第53回日本男子リーグ第2節.....10	・令和6年度第1回定時評議員会議事録.....31
・ニトリ JD.LEAGUE 2024	・令和6年度第3回理事会議事録.....36
第7節・第8節 西地区「第5節」.....14	
・戦いはグラウンド上だけじゃない!	
チームのために、勝利のために!!.....20	・事務局だより.....37

公益財団法人 日本ソフトボール協会オフィシャルホームページ  
[www.softball.or.jp](http://www.softball.or.jp)

# ●女子TOP日本代表レポート●



来る7月15日（月・祝）～20日（土）、イタリア・カステイオンス・デイス・トラダで開催される「第17回女子ワールドカップファイナルステージ」に出場する女子TOP日本代表選手16名が正式に発表され、大会の試合スケジュールも明らかとなった。

## 戦いの軌跡

女子TOP日本代表は昨年4月2日（日）～8日（土）、韓国・仁川で開催された「第13回女子アジアカップ」（中国香港、インド、日本、韓国、フィリピン、シンガポール、タイ、チャイニーズ・タイペイの9チームが出場）で「全勝優勝」。圧倒的な強さでアジアを制し、「第17回女子ワールドカップグループBステージ」への出場権を手にした。

続く戦いの舞台となった「第17回女子ワールドカップグループBステージ」では、カナダ、イタリア、ニュージーランド、フィリピン、ベネズエラと同組の「グループC」（7月22日（土）～26日（水）、イタリア・カステイオンス・デイス・トラダ・ブットリオで開催）に振り分けられ、オープンングラウンド（予選リーグ）でカナダに5-6で敗れる「波乱」があったが、1敗を堅持し、2位でカナダとの再戦となった「第1代表決定戦」に勝ち上がり、7



2023 第17回女子ワールドカップ グループステージ グループC [詳細はこちら](#)



2023 第13回女子アジアカップ [詳細はこちら](#)

第17回女子ワールドカップ ファイナルステージに至る戦いの軌跡を振り返ろう

1で大勝利、しつかりと「リベンジ」。「第1代表」の座を手にし、「ファイナルステージ」出場権を獲得した。

「第2代表決定戦」は悪天候のため中止。オープンングラウンド(予選リーグ)1位のカナダが「第2代表」となり、3位・4位戦で4位・フィリピンに6-5の1点差で勝利した本大会

「ホスト国」でもある3位・イタリアが「ワイルドカード」で「ファイナルステージ」進出を決めた。

「グループA」(7月11日(火)〜15日(土)、アイルランド・ダブリンで開催)ではアメリカが「第1代表」。オーストラリアが「第2代表」で出場権を獲得。

「グループB」(7月18日(火)〜22日(土)、スペイン・バレンシアで開催)では、プエルトリコが「第1代表」で本大会出場権を獲得。オランダが「第2代表」となり、中国が「ワイルドカード」での「ファイナルステージ」出場決定。

「第17回女子ワールドカップファイナルステージ」で「世界1」の座をかけて戦う8チームが出揃った。

### 試合方式

「第17回女子ワールドカップファイナルステージ」は、出場8チームを4チームずつ2つのグループに振り分け、各グループでシングルラウンドロビン(1

回総当たり)のリーグ戦を実施。そのリーグ戦の順位に基づき、「グループA」「グループB」の上位2チームが「スーパードロビン」に進出。再びシングルラウンドロビン(1回総当たり)のリーグ戦を行うが、すでに同グループで対戦したチームとは対戦せず、各グループ内での試合結果を持ち越し、「スーパードロビン」上位2チームが「ワールドチャンピオンシップファイナル」(優勝決定戦)に進出。3位・4位のチームが「ブロンズメダルゲーム」(3位決定戦)を行い、最終順位が決定する。

女子TOP日本代表(世界ランキング3位)は、オーストラリア(世界ランキング10位)、オランダ(世界ランキング8位)、プエルトリコ(世界ランキング2位)と同組の「グループB」に振り分けられた。

まずはこの「グループB」のリーグ戦で「上位2チーム」に入ることが「世界1奪還」への「最初の関門」となり、続く「スーパードロビン」での戦いを有利に進め、「世界1」を決める「ワールドチャンピオンシップファイナル」へ進むためにも「全勝」での突破が「絶対条件」となる。

### 代表選手の顔ぶれ

「世界1奪還」をめざす女子TOP日

本代表・代表選手16名の顔ぶれを見ていくと、投手陣は4名。「レジェンド」上野由岐子には試合を締めくくる「クローザー」としての役割が期待され、昨シーズンのJ.D. リーグ「西地区」 MVPであり、最優秀防御率、最多勝にも輝いた左腕・後藤希友には「エース」としての働きが期待される。今シーズンも第8節終了時点で8勝を挙げ、負けなし。防御率0.26でリーグトップを走る成績を残している。この「実績十分」の二人に加え、J.D. リーグ「東地区」で今シーズン前半戦6勝を挙げ、所属チームの「単独首位」躍進の原動力となっている坂本実桜。そのJ.D. リーグ「チャンピオンチーム」から「移籍」することを敢えて選択。「勝負」に出て、新天地でリーグ最多の12勝を挙げ、代表選出に値する「実績」を作った三輪さくららの4名の編成となった。

キャッチャーは切石結女、炭谷遙香の2名を選出。ともに「大型捕手」としてジュニア時代から将来を嘱望されてきた「大器」が世界の舞台へ羽ばたくことになる。

内野手は6名を選出。「東京2020オリンピック」金メダリスト・川畑瞳をはじめ、昨シーズン、J.D. リーグ「東地区」 MVPに輝き、首位打者のタイトルも獲

得した工藤環奈、同じくJ.D. リーグ「西地区」首位打者の石川恭子、本塁打・打点の「二冠」に輝き、念願の「J.D. リーグチャンピオン」の座を決める「ダイヤモンドシリーズファイナル」で「レジェンド」上野由岐子から勝負を決める本塁打を放つて見せたスラッガー・下山絵理、所属チームでは「キャッチャー」を務め、現在、打率4割6分2厘、J.D. リーグ「東地区」で首位打者争いを演じ、7本塁打・26打点で本塁打・打点のトップに立ち「三冠王」を狙う勢いの坂本結愛、ジュニア時代に「日本代表」を経験。「気持ち」を全面に出したブレイスタイルでチームを鼓舞する「ムードメーカー」須藤志歩の6名を選出。

外野手は4名の編成。昨シーズン、J.D. リーグ「東地区」で本塁打王のタイトルを獲得した塚本実、 「西地区」ベストナインに輝いた中川彩音、今シーズン打撃好調、前半戦打率4割4分4厘、「東地区」で首位打者争いを演じ、小技や足を絡めた「日本らしい」攻守の「象徴的なプレイヤー」である藤本麗高い身体能力を誇り、守備力に定評のある唐牛彩名の4名を選出。

以上、この16名でワールドカップでは2014年以来、3大会ぶりとなる世界一の座「奪還」をめざし、戦うことになる。

# 令和6年度 女子TOP日本代表チーム

## （第17回女子ワールドカップ ファイナルステージ出場選手）

【選手】（ポジション別50音順）

《投手》

上野由岐子（ビックカメラ高崎）#17

後藤 希友（トヨタ自動車）#27

坂本 実桜（日立）#1

三輪さくら（シオノギ）#2

《捕手》

切石 結女（トヨタ自動車）#24

炭谷 遙香（ビックカメラ高崎）#28

《内野手》

石川 恭子（トヨタ自動車）#6

川畑 瞳（デンソー）#10

工藤 環奈（ビックカメラ高崎）#3

坂本 結愛（戸田中央）#7

下山 絵理（トヨタ自動車）#13

須藤 志歩（豊田自動織機）#4

《外野手》

唐牛 彩名（日立）#15

塚本 蛍（ホンダ）#26

中川 彩音（SGホールディングス）#9

藤本 麗（ビックカメラ高崎）#23

【スタッフ】

《チームリーダー》

宇津木妙子（日本ソフトボール協会）

《ヘッドコーチ》

宇津木麗華（ビックカメラ高崎）

《アシスタントコーチ》

山田 恵里（筑波大学）

山本 優（札幌Futures）

《トレーナー》

村上 純一（ジェイワン）

安部 容子（チームコーポレーション）

《マネージャー》

柳川 直子（ビックカメラ高崎）

《情報》

大田 穂（順天堂大学）

《用具》

田島 百恵（ミズノ）

《広報》

竹崎 治（日本体育社）

《通訳》

田河 眞美（日本ソフトボール協会）



<b>グループステージ</b> <b>グループA</b> ※上位2チーム  <b>アメリカ(1位)</b> <b>オーストラリア(10位)</b> ( )内は世界ランキング順位	<b>グループステージ</b> <b>グループB</b> ※上位2チーム  <b>プエルトリコ(2位)</b> <b>オランダ(8位)</b> ( )内は世界ランキング順位	<b>グループステージ</b> <b>グループC</b> ※上位2チーム  <b>日本(3位)</b> <b>カナダ(5位)</b> ( )内は世界ランキング順位
--	--	---

「第17回女子ワールドカップ ファイナルステージ」の东道であるイタリアが「グループステージ」グループCで3位となり、「ワイルドカード」で「ファイナルステージ」進出が決まり、同じく「グループステージ」グループBで3位となった中国も同様に「ワイルドカード」で「ファイナルステージ」進出が決定。以上の8チームで「世界一」の座を争う。

**グループA・B・C**  
**上位2チーム(6チーム)**
↓
**ワイルドカード獲得2チーム**  
**ファイナルステージ進出!**



FOR THE TITLE OF **WORLD CHAMPION**  
 WBSC.ORG #SoftballWorldCupW @WBSC

GROUP A				GROUP B			
	W	L		W	L		
ITALY			AUSTRALIA			JAPAN	
CANADA			PUERTO RICO			NETHERLANDS	
CHINA			USA				

**FINAL STAGE GAMES**

JUL 15											
1 11:00		AUSTRALIA	VS		JAPAN	2 14:00		PUERTO RICO	VS		NETHERLANDS
3 16:30		CANADA	VS		USA	OPENING CEREMONY 19:30					
4 20:30		CHINA	VS		ITALY						
JUL 16											
5 11:00		JAPAN	VS		PUERTO RICO	6 14:00		CHINA	VS		CANADA
7 17:30		NETHERLANDS	VS		AUSTRALIA	8 20:30		ITALY	VS		USA
JUL 17											
9 11:00		NETHERLANDS	VS		JAPAN	10 14:00		USA	VS		CHINA
11 17:30		AUSTRALIA	VS		PUERTO RICO	12 20:30		ITALY	VS		CANADA
SUPER ROUND & PLACEMENT ROUND											
JUL 18											
TBD 11:00	A4	VS	B4	TBD 14:00	A3	VS	B3				
TBD 17:30	A2	VS	B2	TBD 20:30	A1	VS	B1				
JUL 19											
TBD 11:00	B4	VS	A3	TBD 14:00	A4	VS	B3				
TBD 17:30	B2	VS	A1	TBD 20:30	A2	VS	B1				
WORLD CHAMPIONSHIP FINAL & BRONZE MEDAL GAME											
JUL 20	21 17:00	4 <sup>th</sup> after Super Round	VS	3 <sup>rd</sup> after Super Round	BRONZE MEDAL GAME						
	22 20:00	2 <sup>nd</sup> after Super Round	VS	1 <sup>st</sup> after Super Round	WORLD CHAMPIONSHIP FINAL						
CLOSING CEREMONY											

\* Super Round: Order of games subject to change based on Final Stage Games standings.  
 \*\* In games between equal seeds, a coin toss determined home team.

※世界ランキングは2024年5月30日現在のもの

# ●男子TOP日本代表レポート●



## 令和6年度 男子TOP日本代表チーム 「選手16名」が決定！

去る6月11日（火）～14日（金）、高知県高知市／高知県立春野総合運動公園を会場に「令和6年度男子TOP日本代表チーム選手選考会」が開催され、全国から64名の選手がチャレンジ4日間の厳しい選考を経て、「代表選手16名」（※第18回男子ワールドカップグループステージ出場選手）が正式決定となった。



全国の強者64名が選考会に参加！

選考会では、冒頭で男子TOP日本代表・江口真史ヘッドコーチ（日ソ協選手強化本部会男子強化委員長）が挨拶に立ち「まず、今回の選考会を開催するにあたって、全国から64名の選手の皆さんが『日本代表入り』をめざし『チャレンジ』してくれていることを大変嬉しく思います。皆さんご存知のこ

とと思いますが、日本の男子ソフトボールは昨年（2023年）ワールドカップの舞台でU23が準優勝、U18が優勝（※2大会連続4回目の世界一に輝く）とアンダーカテゴリーで素晴らしい成績を残しています。次は、私たち『TOPカテゴリー』が世界の舞台で『躍動・躍進』する番です！特に、ここに集まってくれた皆さんはジュニア世代の選手たちにとって、常にめざすべきところ。『希望』となってもらわなければなりません。世界トップレベルに挑む技術を磨き、競技力を向上させていくことはもちろん第一なのですが、同時に『人間力』といった部分もさらに高めていってほしい。若い選手・子どもたちの良きお手本となり、多くの人が憧れるような『真の意味で誇れる』日本代表選手をめざしてください!!』と参加選手を激励。

「この選考会で選出された『日本代表選手16名』には、今年9月、アメリカで開催される『ワールドカップグループステージ』に出場し、来年のファイナルステージ進出（※A・B・Cの各グループ上位2チームにファイナルステージ出場権が与えられる）をかけて世界の強豪と戦ってもらいます。私自身もかつて日本代表として世界の舞台を経験しましたが（※江口真史ヘッドコーチも過去に男子TOP日本代



自身もかつて男子TOP日本代表として世界と戦い、「第3位」「準優勝」の好成績を取めた江口真史ヘッドコーチ。その「手腕」に大いに期待したい！

表の内野手…三塁手として世界選手権(現・ワールドカップ)に二度出場。当時の日本の主砲…4番打者で、現在日ソ協専務理事の要職にある岡本友章氏らと世界の強豪に挑み、1996年の第9回大会で初の3位入賞、2000年の第10回大会では準優勝の快挙を成し遂げる等、男子日本代表の黄金時代を築いた。そこで得たモノ、学んだことがたくさんあり、その一つひとつを『男子日本代表のレガシー』としてしっかりと継承していきたいと考えて

います。日本代表選手16名という枠はまさに狭き門で、選ばれし者のみ与えられる立場となりますが、どうか皆さん、4日間全力で、頑張ってください!!」と今後の方針や自らの熱い思いも口にした。

選考会初日はまず参加選手全員の体力・運動能力を測定。握力、背筋力、50m走、6秒全力ペダリングと4種類の測定で各選手の基本的な運動能力をチェック・数値化。並行して江口真史

ヘッドコーチ・選手との個人面談も実施し、その後、投手の球速測定、捕手のスローイング(盗塁阻止を想定した二塁への送球)計測、野手のフリーバットニング等が行われた。

選考会2日目以降は64名の参加選手をA・B・C・Dの4つのグループに振り分け、紅白戦形式で対戦させる実戦主体の選考内容に終始。2日目と4日目(最終日)の午前中まで、「合計7試合」に及ぶ紅白戦で選手一人ひとりの「実戦能力」(※投手は与えられたイニング数の中でどこまで実力を発揮できるか、野手は打撃、守備、走塁といった基本的な要素に加え、攻守における特徴・ストロングポイントの有無、実戦の中で状況判断能力やそこで選択したプレイの有効性・確実性、また、それらの要素・能力が『世界に通用するレベル』にあるかどうか等)を厳しくチェック。各選手最終日の紅白戦のラスト一球・ワンプレイまで懸命にアピールを続け、4日間にわたる選考会の全日程を終了した。

男子TOP日本代表・江口真史ヘッドコーチは今回チームを編成するにあたり「前回(2022年)のワールドカップでは、まさかの7位に終わってしまった、本当に悔しい思いをしました。が…同時に現在の、まさにリアルな『世界トップレベル』(男子ソフト

ボールのトップオブトップ)を直接肌で体感してることができました。私が日本代表として世界と戦ったあのときから、時代は流れ、男子ソフトボールのレベル・競技力は間違いなく上がってきています。そのトップレベルに本気で対抗していくためには、この選手選考の段階から明確な目的・意図を持って入念に『勝つための準備』を進めていかななくてはなりません。この選考会を開催する以上は、もちろんすべての選手に公平にチャンスを与えます。大学生であるのが、クラブ、実業団チームであるのが、日本リーグ所属チームであるのが、同じ条件・同じ土俵で競い、高め合ってほしい。ですが、その選手たちを選考するための大きなポイントとして常に『世界の舞台で通用するレベルにあるか』という観点が私の中にあるのも事実です。今回合計7試合に及ぶ紅白戦が選考のメインとなりますが、個々のプレイの結果をただ見ているわけでは決してありません。投手ではそれぞれの特徴や球種の質、精度、あらゆる状況に置かれてもピッチングを組み立て、まとめていく能力があるか否か。打者も海外の投手の球速・球威、変化球のキレ(変化量の大きさ)に負けない、対応できる能力を有しているかどうか。バットの出し方やスイングの軌道も確認して、ライズ

に合うバッター、ドロップに合うバッターは誰か……小技はできるか？機動力はあるか？といった部分まで必ず私は「国際大会を戦うイメージ」をしながら選考するよう心がけています。常に世界レベルをイメージして、その舞台に挑むための「準備」を徹底して行うこと。言うならば、この選手選考会からワールドカップへの準備・強化ははじまっているのです」と自身の考えを述べた。

**カギとなる、国際舞台での経験、ベテラン・若手の力を融合して！**

今回発表された「男子TOP日本代表16名」の顔ぶれを見ていくと、16名全員がこれまでTOP・U23・U18（※選手が代表入りしていた当時はU19）といずれかのカテゴリで一度は日本代表に名を連ね、国際舞台を経験しており、国内での活躍・実績はもちらんのこと、その「国際経験値」に期待が込められる陣容になったと言つていいだろう。

投手は池田空生（Honda）、小野寺翔太（トヨタ自動車）、長井風雅（Honda）の3名。3名とも球速120km/h後半、球威・切れ味抜群の「ライズボール」が最大の武器であり、その「パワーピッチング」がTOPカテ

ゴリーのワールドカップでどこまで通用するか？世界の舞台上位進出を果たすためには、投手陣の安定・踏ん張りが必要となるだけに……まずもって大いに奮起してもらいたい。

捕手は上田郁也（三重ヴェルデウィーン）、片岡大洋（高知パシフィックウエーブ）を選出。2013年から5大会連続で世界選手権・ワールドカップに出場してきたベテラン・片岡大洋が、はじめてTOPチーム入りを果たした上田郁也にその「豊富な経験」「世界の舞台で培ってきた嗅覚」を伝えるとともに、この二人で投手陣をどうリードしていくか。世界で日本が躍進するためには「バッテリーの出来・働き」が非常に重要になってくる。

内野手に名を連ねたのは井上裕太郎（平林金属）、大川竜志（ジェイテクト）、櫻庭佑輔（三重ヴェルデウィーン）、鳥山和也（平林金属）、西田勘汰（埼玉県庁クラブ）、真崎海斗（トヨタ自動車）、八角光太郎（平林金属）の7名。守備のみならず「打撃」でも期待がかかるこの顔ぶれを、元・日本代表内野手、江口真史ヘッドコーチがどのポジションに配し、どう起用していくか……興味深いところ。対戦相手や試合の状況・展開によって、臨機応変かつフレキシブルな采配を振るうがための選出であることが見て取れるが、そ

の中でも近年多くの関係者が「今の日本の主砲に相応しい！」と評価してやまない「真崎海斗のスケールの大きい、勝負強いバッティング」に注目したい。外野手は黒岩誠亥（トヨタ自動車）、佐藤光希（トヨタ自動車）、浜本梯（平林金属）、森田裕介（豊田自動織機）の4名を選出。ここでは2019世界選手権準優勝メンバーでもある黒岩誠亥、森田裕介がそのキャリアに裏打ちされた知識・技術でリーダーシップを発揮することが予想されるが（※今回、チームのキャプテンを黒岩誠亥が務める）、今「旬」を迎え、直近の国際舞台でも「日本代表に欠かせない選手」として「抜群の存在感」を示した佐藤光希、浜本梯が今回攻守両面で、キープレイヤーとなりそうだ。4名ともまずしぶとく出塁する打撃を売りにしているが、試合の状況やチームでの役割によっては「送ること、つなぐこと、返すこと」を実践・遂行できる「引き出しの多さ」を持ち合わせており、日本の技術の高さを体現できる選手たちと言つても過言ではないだろう。

男子TOP日本代表チームは今後、アメリカ・オクラホマシティにおいて開催される「第18回男子ワールドカップグループステージ・グループC」（※大会期日／9月17日～21日）に出

場。同グループのアメリカ（世界ランキング7位）、グアテマラ（世界ランキング13位）、コロンビア（世界ランキング17位）、南アフリカ（世界ランキング18位）、オランダ（世界ランキング19位）と「ファイナルステージ進出」（※グループ内上位2チームがファイナルステージへ進出。ファイナルステージは来年（2025年）カナダ・プリンスアルバートにて開催される）をかけて戦うこととなる。



グループステージを突破し、「ファイナルステージへの切符」を!!



# ◆令和6年度 男子TOP日本代表チーム (第18回男子ワールドカップグループステージ出場選手)

## 〈選手〉 (ポジション別50音順)

### ・投手

池田 空生 (Honda) #11  
小野寺翔太 (トヨタ自動車) #19  
長井 風雅 (Honda) #24

### ・捕手

上田 郁也 (三重ヴェルデウィン) #12  
片岡 大洋 (高知パシフィックウェーブ) #14

### ・内野手

井上裕太郎 (平林金属) #20  
大川 竜志 (ジェイテクト) #6  
櫻庭 佑輔 (三重ヴェルデウィン) #7  
鳥山 和也 (平林金属) #35  
西田 勘汰 (埼玉県庁クラブ) #17  
真崎 海斗 (トヨタ自動車) #3  
八角光太郎 (平林金属) #8

### ・外野手

黒岩 誠亥 (トヨタ自動車) #10  
佐藤 光希 (トヨタ自動車) #1  
浜本 悌 (平林金属) #42  
森田 裕介 (豊田自動織機) #23

## 〈スタッフ〉

### ・チームリーダー

岡本 友章 (日本ソフトボール協会)

### ・ヘッドコーチ

江口 真史 (トヨタ自動車)

### ・アシスタントコーチ

吉村 啓 (平林金属)  
照井 賢吾 (高崎市役所)

### ・マネージャー

衣斐 一平 (豊田自動織機)

### ・トレーナー

簀戸 崇史 (環太平洋大学)



# ◎第53回日本男子リーグ第2節◎



去る6月1日（土）～3日（月）（※雨天により、茨城大会が予備日/6月3日を使用する形となった）、茨城県小美玉市・鹿兒島県南九州市において「第53回日本男子リーグ」第2節が開催された。

第2節では、前節（第1節）と同率首位スタートを切った3チーム（※Honda、トヨタ、ダイワアクト）の3チームが開幕4連勝と快調な滑り出しを見せたが依然「好調」をキープ中でも「世界ナンバーワンサウスポー」ジャック・ベスグロップ（※2022年ワールドカップ・2023年U23ワールドカップ優勝投手）を擁するダイワアクトは今節も「無傷」の4連勝を飾り、通算成績8勝0敗で「単独首位」に浮上！今節3勝1敗・通算成績7勝1敗となったHonda、トヨタが「同率2位」で追いかける状況になった。

また、前節2勝2敗と出遅れながら、今節茨城大会で「4連勝」とチャージをかけた平林金属が通算成績6勝2敗で「単独4位」に。高知パシフィックウェーブ（今節2勝2敗）、大阪桃次郎（今節3勝1敗）、ジェイテクト（今節3勝1敗）が通算成績5勝3敗で「同率5位」に並び、デンソー（今節1勝3敗）、旭化成（今節3勝1敗）、埼玉県庁クラブ（今節1勝3敗）は通算成

績4勝4敗の「同率8位」。三重ウェルデウィン(今節1勝3敗)、日本エコーステム(今節2勝2敗)、大阪・堺グロバール(今節1勝3敗)は通算成績3勝5敗で「11位グループ」となり、山口水産(今節2勝2敗)が通算成績2勝6敗で「14位」。豊田自動織機(今節1勝3敗)と愛媛ウエスト(今節4連敗)は通算成績1勝7敗で「同率15位」。熊本嶋田クラブが今節も勝ち星を挙げることができず、開幕8連敗「17位」と苦しんでいる。

「単独首位」に立ったダイワアクトは、鹿児島県南九州市／知覧平和公園多目的球場・諏訪運動公園において開催された鹿児島大会に登場。

初日・1試合目の旭化成戦に「切り札」ジャック・ベスグロープの「被安打2・奪三振18」といういきなりの快投と、松山和貴、升水大瑚のタイムリ1で2-0の完封勝利。続く大阪・堺グロバールとの対戦も「キャプテン」古川恵士の先制タイムリー、大城賢輝のダメ押しホームラン等で5得点、投げては、ジャック・ベスグロープ(※この試合は5イニングの登板に止まったが、投球内容は被安打0・奪三振10と圧巻の一言)、古川恵士の投手リレーで5-0とシャットアウト。2日目もまずジェイテクト戦にジョシユ・マクガバン、松山和貴、升水大瑚の3本

のホームラン等で6点を奪えば、先発・ジャック・ベスグロープが4イニングを「被安打1・奪三振8」の投球内容でまとめ、試合の流れを作り、最終的に3投手をつなぐ継投で6-0の快勝。今節最終戦となった愛媛ウエスト戦も序盤豊村友之介の「グランドスラム」等で大量リードを奪い、その後「継投策に出る」ゲームプランにシフト変更。結果的に6失点を喫する形となりはしたが(※ジャック・ベスグロープが4回3分の2、中川大輝が1回福地廉が1回3分の1を投げる…投球内容はジャック・ベスグロープが被安打2(被本塁打1/愛媛ウエストの4番・藤田魁皇にツーランホームランを浴びた)・奪三振14の自責点2、中川大輝が被安打3・自責点3、福地廉が被安打3(被本塁打1)・自責点1であった)、10-6で振り切り、4連勝!開幕からの連勝を「8」に伸ばした。



依然「無双状態」のベスグロープ

Hondaとトヨタは、茨城県小美玉市／希望ヶ丘公園多目的広場・軟式野球場において開催された茨城大会に登場。



Hondaとトヨタが同率2位で追いかける!

「奪三振16」の快投で6-0と勝利し、今節3勝1敗。ダイワアクトに単独首位の座を持っていかれたが、通算成績7勝1敗の「勝ち星一つ差」についている。

トヨタは今節初戦の埼玉県庁クラブ戦に有家祥太の勝ち越しタイムリー等で3-1と勝利した後、首位を争うライバル・Hondaに1-2で競り負けてしまい、今シーズン初黒星。しかし、この敗戦を引きずることなく、2日目はまずデンソー戦に佐藤光希(2本)、小野寺翔太、真崎海斗の4本のホームランを浴びせる等15-0(5回コールド)で大勝。続く三重ウェルデウィンとの対戦にも序盤の集中打、西森亜夕夢の勝利を決定づけるツーランホームランで8-0と完勝し、今節3勝1敗。Hondaと同じく通算成績7勝1敗で「同率2位」に並ぶこととなった。

Hondaは今節初戦のデンソー戦に0-3の完封負けを喫したものの、次戦/トヨタとの直接対決に「選手兼任監督」浦本大嗣の先制・勝ち越しタイムリー、先発・長井風雅の「15奪三振」の力投で2-1と勝利。この「重要な一戦での勝ち星」で息を吹き返したHondaは、2日目、まず豊田自動織機を先発・池田空生の「1安打ピッチング」等で2-0とシャットアウト。埼玉県庁クラブ戦にも打っては笹原允、船原雄大のタイムリー等、投げては「好調」長井風雅の「被安打3・



トヨタは期待のルーキーが今節から合流



平林金属が今節「意地」の4連勝を飾り、単独4位へ

また、茨城大会では平林金属が「4連勝」を飾り、通算成績6勝2敗で前節終了時点の7位グループから「単独4位」へ順位を上げてきた。試合内容的には三重ヴェルデウインに6-5、日本エコシステムに13-8、豊田自動織機に6-5、埼玉県庁クラブに2-1と「辛勝続き」で、例年に比べ、失点の多さ、投手陣の不安定さ、気分になるところではあるが……「さすが、時代をリードしてきたチーム」と感じさせる「しぶとさ・勝負強さ」で勝ち星を伸ばし、懸命に上位争いに食らい

### 「世界ナンバーワンサウスポー」に挑み、超えていけ！

上記のように「第2節」を終了した「第53回日本男子リーグ」であるが、前節のレポートでも記したように依然として「世界ナンバーワンサウスポー」ジャック・ベスグロップ（ダイワアクトに所属）が「世界トップレベル」の「驚愕のピッチング」を披露し続けている。

今節終了時点の投手個人成績をご覧いただく。「その凄さ」「実状」が伝わると思うが、規定投球回数18回以上の日本男子リーグ投手ランキングにおいて、現在ジャック・ベスグロップは「貫禄の第1位」（※8勝0敗・防御率0.43。48回3分の2を投げ、奪った三振の数は「118」と驚愕の成績を残している）。何度も繰り返すようだが、まだ20歳の左腕が世界で、日本で、無双状態を続けているのである。「2022年ワールドカップ・2023年U23ワールドカップ優勝投手」を攻略することが並大抵ではない……のは百も承知であるが、見方・考え方を変えてみれば、この機会は今後日本男子ソフトボールのさらなるレベルアップ・競技力向上をめざす上で「千載一遇のチャンスになる」とも強く感じ

る。

ただ、凄いや打てない、と翻弄・圧倒されてしまうのではなく、この「世界一の投手」といかにして勝負するか？ ここぞ！の場面で投げ込まれる「MAX136km/h」の快速球、「打者の手元で浮き上がり（吹き上がり）ながら曲がるスライダー」にどう立ち向かい、対応していくか？ 実際打ち崩すのは至難の業だが……その課題に真に踏み込み、本気で向き合って、日本男子ソフトボールの現在のレベルをもうワンランク、ツーランク押し上げていくことが非常に重要になってくるのではないだろうか。

今年もこの日本男子リーグには、海外から世界のトッププレイヤーが続々来日。国際色豊かで、よりレベルの高いプレイ・試合が数多く繰り広げられている。

ダイワアクトのジャック・ベスグロップ（オーストラリア代表）以外にも、大阪・堺グローバルには「2022年ワールドカップ MVP」のマーシャル・クロンク（元・オーストラリア代表）、山口水産には「2017年世界選手権（現・ワールドカップ）優勝投手」のニック・ヘイズ（ニュージーランド代表）ら、世界的ビッグネームが所属しており、各チーム日頃対戦相手やチームメイトであるのは当然のこ



この機会に「世界レベル」へ、もう一步踏み込みたい!!

とながら、これまで以上に「世界的視野」「世界的レベル」で男子ソフトボールという競技をとらえ、「追求・探求していく」ことが可能な「絶好の機会」（大きなチャンス）が訪れていると思えてならない。

彼らは、世界の頂点へ登り詰めた経験を持つ、まさに「トップレベル」の選手たち。その領域に我々（日本）がもう一步「明確な目的」を持って、「踏み込んでいけるか否か」。日本男子リーグ、日本男子ソフトボールのレベルを底上げしていくという意味で、先述のような内容が一つ大きなカギを握っている……と考えている。

# ◎第2節終了時点 全チーム勝敗・順位

1位	ダイワアクト	8勝0敗
2位	Honda	7勝1敗
//	トヨタ	7勝1敗
4位	平林金属	6勝2敗
5位	高知パシフィックウェーブ	5勝3敗
//	大阪桃次郎	5勝3敗
//	ジェイテクト	5勝3敗
8位	デンソー	4勝4敗
//	旭化成	4勝4敗
//	埼玉県庁クラブ	4勝4敗
11位	三重ヴェルデウィン	3勝5敗
//	日本エコシステム	3勝5敗
//	大阪・堺グローバル	3勝5敗
14位	山口水産	2勝6敗
15位	豊田自動織機	1勝7敗
//	愛媛ウエスト	1勝7敗
17位	熊本嶋田クラブ	0勝8敗

※上位5チームが決勝トーナメントに進出

## ◆茨城大会◆

### 【大会第1日(6月1日) 試合結果】

トヨタ 3-1 埼玉県庁クラブ  
 平林金属 6-5 三重ヴェルデウィン  
 豊田自動織機 7-3 日本エコシステム  
 デンソー 3-0 Honda  
 三重ヴェルデウィン 3-1 豊田自動織機  
 平林金属 13-8 日本エコシステム  
 埼玉県庁クラブ 9-5 デンソー  
 Honda 2-1 トヨタ

### 【大会第2日(6月2日) 試合結果】

平林金属 6-5 豊田自動織機  
 トヨタ 15-0 デンソー  
 日本エコシステム 6-5 三重ヴェルデウィン  
 Honda 2-0 豊田自動織機  
 平林金属 2-1 埼玉県庁クラブ  
 トヨタ 8-0 三重ヴェルデウィン

### 【予備日(6月3日) 試合結果】

Honda 6-0 埼玉県庁クラブ  
 日本エコシステム 3-1 デンソー

## ◆鹿児島大会◆

### 【大会第1日(6月1日) 試合結果】

ジェイテクト 10-0 山口水産  
 大阪桃次郎 14-0 愛媛ウエスト  
 ダイワアクト 2-0 旭化成  
 ジェイテクト 4-2 熊本嶋田クラブ  
 大阪桃次郎 2-0 高知パシフィックウェーブ  
 旭化成 5-2 大阪・堺グローバル  
 山口水産 5-4 愛媛ウエスト  
 高知パシフィックウェーブ 4-1 熊本嶋田クラブ  
 ダイワアクト 5-0 大阪・堺グローバル

### 【大会第2日(6月2日) 試合結果】

旭化成 5-1 高知パシフィックウェーブ  
 ダイワアクト 10-6 愛媛ウエスト  
 大阪・堺グローバル 5-0 熊本嶋田クラブ  
 高知パシフィックウェーブ 5-4 山口水産  
 ダイワアクト 6-0 ジェイテクト  
 大阪桃次郎 11-2 大阪・堺グローバル  
 山口水産 6-1 熊本嶋田クラブ  
 旭化成 4-2 愛媛ウエスト  
 ジェイテクト 9-4 大阪桃次郎

第2節の動画・フォトギャラリー等は  
 JSAオフィシャルサイトで!  
[www.softball.or.jp](http://www.softball.or.jp)



東地区

日立 **12** 連勝で単独 **首位**



**ニトリ**  
**JD.LEAGUE**

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第7節・第8節 **西地区第5節**

西地区



トヨタ **無傷の18連勝**

# 第7節

「ニトリJD.LEAGUE 2024」は、この第7節から「東地区」「西地区」のチームが対戦する「交流戦シリーズ」に突入！ 雨のため、1日順延があり、6月1日(土)～3日(月)、埼玉県朝霞市、静岡県掛川市、愛知県豊田市、京都府京都市の計4会場で熱戦が繰り広げられた。

「東地区」では、同率首位に並んでいたビックカメラ高崎が初戦の豊田自動織機との延長タイブレークにもつれ込む激闘は4-1で勝利を収めたものの、続く「西地区」最下位と苦しむ東海理化戦に先制しながら終盤追いつかれ、自らの守備の乱れから逆転負け。2-4で落とし、通算成績12勝4敗となり、首位の座を明け渡す結果となった。代わって単独首位に立ったのは日立。今節も連勝で破竹の10連勝と絶好調！ビックカメラ高崎を抜き去り、通算成績13勝3敗で単独首位に躍進した。同じく今節連勝の戸田中央が12勝4敗で同率2位に並び、激しい首位争いを演じ、4位には10勝6敗のホンダがつけ、上位3チームを懸命に追いかけている。

以下、7勝9敗のデンソーが5位、太陽誘電、大垣ミナモ、NECプラ



「東地区」は上位4チームが激しい順位争いを展開。火花を散らす！

「西地区」では、「王者」トヨタが相変わらずの強さを見せ、今節も連勝唯一「全勝」を守り、開幕からの連勝を「16」に伸ばし、首位を独走している。2位以下は消化試合数が異なるが、SGホールディングスが11勝5敗で追いかけて、3位は9勝5敗のシオノギ。「上位進出の常連」豊田自動織機が今節連敗で4位につけてはいるものの、6勝7敗と黒星先行。「プレーオフ進出」を狙うには苦しい状況に追い込まれている。

以下、5勝11敗の伊予銀行が5位、4勝9敗のタカギ北九州が6位、3勝11敗の日本精工が7位、ビックカメラ高崎から「大金星」を挙げた東海理化が3勝13敗で最下位の順位は変わらないものの、「第6節」「第7節」で3勝を挙げ、元気なところを見せている。

ニトリJD.LEAGUE 2024 第7節「交流戦シリーズ」朝霞ラウンド 埼玉県朝霞市・朝霞中央公園野球場						
月日	試合結果					
6月1日(土)	第1試合	豊田自動織機	シャイニングベガ	1-4	ビックカメラ高崎	ビーキューン
	第2試合	戸田中央	メディックス埼玉	9-2	東海理化	チェリーブロッサムズ
6月2日(日)	第1試合	東海理化	チェリーブロッサムズ	4-2	ビックカメラ高崎	ビーキューン
	第2試合	戸田中央	メディックス埼玉	雨天順延	豊田自動織機	シャイニングベガ
6月3日(月)		戸田中央	メディックス埼玉	2-1	豊田自動織機	シャイニングベガ

ニトリJD.LEAGUE 2024 第7節「交流戦シリーズ」掛川ラウンド 静岡県掛川市・いこいの広場野球場						
月日	試合結果					
6月1日(土)	第1試合	日立	サンディーバ	5-0	伊予銀行	ヴェールズ
	第2試合	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ	6-0	タカギ北九州	ウォーターウェーブ
6月2日(日)	第1試合	日立	サンディーバ	8-5	タカギ北九州	ウォーターウェーブ
	第2試合	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ	0-5	伊予銀行	ヴェールズ

ニトリJD.LEAGUE 2024 第7節「交流戦シリーズ」豊田ラウンド 愛知県豊田市・豊田市運動公園野球場						
月日	試合結果					
6月1日(土)	第1試合	日本精工	ブレイブベアリーズ	0-2	太陽誘電	ソルフィュー
	第2試合	トヨタ	レッドテリアーズ	2-0	デンソー	ブライトペガサス
6月2日(日)	第1試合	デンソー	ブライトペガサス	雨天順延	日本精工	ブレイブベアリーズ
	第2試合	トヨタ	レッドテリアーズ	雨天順延	太陽誘電	ソルフィュー
6月3日(月)	第1試合	デンソー	ブライトペガサス	7-0	日本精工	ブレイブベアリーズ
	第2試合	トヨタ	レッドテリアーズ	7-1	太陽誘電	ソルフィュー

ニトリJD.LEAGUE 2024 第7節「交流戦シリーズ」京都ラウンド 京都府京都市・わかさスタジアム京都						
月日	試合結果					
6月1日(土)	第1試合	シオノギ	レインボーストックス兵庫	3-10	ホンダ	リヴェルタ
	第2試合	SGホールディングス	ギャラクシースターズ	3-1	大垣	ミナモ
6月2日(日)	第1試合	シオノギ	レインボーストックス兵庫	3-0	大垣	ミナモ
	第2試合	SGホールディングス	ギャラクシースターズ	2-4	ホンダ	リヴェルタ

# 第8節

【第8節】は、6月8日（土）・9日（日）の両日、新潟県上越市、群馬県桐生市、愛知県小牧市、滋賀県草津市の全国4会場で、前節（第7節）に引き続き、「交流戦シリーズ」が開催された。

【東地区】では前節（第7節）で単独首位に立った日立が今節も連勝。第3節から続いている連勝を「12」に伸ばし、通算成績15勝3敗で首位の座を堅持している。

これを追うビックカメラ高崎、戸田中央も今節連勝。通算成績14勝4敗で首位・日立をピタリマークしている。4位・ホントは「西地区」で首位を独走するトヨタに0-2の完封負け。今節1勝1敗で11勝7敗となった。

5位以下は勝率5割を割り込み、8勝10敗のデンソーが5位、5勝13敗のNECプラットフォームズと大垣ミナモトが6位に並び、4勝14敗の太陽誘電が最下位となっている。

【西地区】では首位を走るトヨタが今節も連勝。唯一「全勝」を守り、開幕から無傷の18連勝と他を寄せつけぬ「強さ」で「連覇」へ向け、突っ走っている。2位には試合数の差異があるものの、今節連勝で通算成績11勝5敗としたシオノギが「勝率」の差で2位に浮上。

今節、太陽誘電に7-1で快勝したものの、デンソー戦を1-3で落としたSGホールディングスが12勝6敗で3位に後退。以下、7勝8敗の豊田自動織機が4位、5勝13敗の伊予銀行が5位、4勝11敗のタカギ北九州が6位、3勝13敗の日本精工が7位、3勝15敗の東海理化が最下位となっている。



第8節も全国4会場で熱戦が繰り広げられた

この後、6月15日（土）・16日（日）の両日、開催日程の異なる【西地区】の【第5節】を兵庫県豊岡市で開催（開催前日の6月14日（金）には第2節・北九州ラウンドで雨天順延となっていたタカギ北九州vs豊田自動織機の「一戦も実施」シオノギ、豊田自動織機、タカギ北九州、日本精工の4チームが残り試合を行うことになる。

## ニトリ JD.LEAGUE 2024 第8節「交流戦シリーズ」上越ラウンド 新潟県上越市・高田城址公園野球場

月日	試合結果			
6月8日（土）	第1試合	デンソー プライトペガサス	1-4	シオノギ レインボーストークス兵庫
	第2試合	太陽誘電 ソルフィーユ	1-7	SGホールディングス ギャラクシースターズ
6月9日（日）	第1試合	デンソー プライトペガサス	3-1	SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合	太陽誘電 ソルフィーユ	0-3	シオノギ レインボーストークス兵庫

## ニトリ JD.LEAGUE 2024 第8節「交流戦シリーズ」桐生ラウンド 群馬県桐生市・小倉クラッチスタジアム

月日	試合結果			
6月8日（土）	第1試合	戸田中央 メディックス埼玉	2-0	伊予銀行 ヴェールズ
	第2試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	7-0	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
6月9日（日）	第1試合	戸田中央 メディックス埼玉	4-1	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	2-1	伊予銀行 ヴェールズ

## ニトリ JD.LEAGUE 2024 第8節「交流戦シリーズ」小牧ラウンド 愛知県小牧市・小牧市民球場

月日	試合結果			
6月8日（土）	第1試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	0-1	日立 サンディーバ
	第2試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	1-4	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
6月9日（日）	第1試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	6-2	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
	第2試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	1-7	日立 サンディーバ

## ニトリ JD.LEAGUE 2024 第8節「交流戦シリーズ」草津ラウンド 滋賀県草津市・草津グリーンスタジアム

月日	試合結果			
6月8日（土）	第1試合	大垣 ミナモト	0-2	トヨタ レッドテリアーズ
	第2試合	日本精工 ブレイブベアリーズ	0-6	ホンダ リヴェルタ
6月9日（日）	第1試合	ホンダ リヴェルタ	0-2	トヨタ レッドテリアーズ
	第2試合	日本精工 ブレイブベアリーズ	0-1	大垣 ミナモト



# 第5節

6月15日(土)・16日(日)、開催日程の異なる「西地区」の「第5節」を、

兵庫県豊岡市で開催。開催前日の6月14日(金)には第2節・北九州ラウンドで雨天順延となっていたタカギ北九州vs豊田自動織機の一戦も実施され、豊田自動織機が3-1で勝利を収め、続くシオノギ戦に4-1、タカギ北九州との「再戦」となった最終戦は延長9回タイブレークの末、11-10の大激戦を制し、今節3連勝。通算成績を10勝8敗とし、「西地区」4位につけた。

今節3連勝で10勝8敗の豊田自動織機



その豊田自動織機との「直接対決」に敗れたシオノギは今節1勝1敗の五分の星に終わり、通算成績12勝6敗。SGホールディングスと並んで「西地区」の同率2位に並んだ。



12勝6敗で同率2位の好位置につけたシオノギ

今節、3試合を消化したタカギ北九州は豊田自動織機に1-3、日本精工に5-13、豊田自動織機との再戦も10-11で敗れ、今節3連敗を喫し、通算成績4勝14敗。「西地区」同率6位となった。

日本精工はタカギ北九州には13-15で大勝したものの、シオノギには0-10で大敗し、今節1勝1敗。通算成績4勝14敗で「西地区」同率6位に並んだ。

変則日程で開催された「西地区」第5節・豊岡ラウンド



「東地区」「西地区」とも「第8節」までの全日程を終了

## ニトリ JD.LEAGUE 2024 第5節「西地区」豊岡ラウンド 兵庫県豊岡市・全但バス但馬ドーム

月日	試合結果			
6月14日(金)	※タカギ北九州	ウォーターウェーブ	1-3	豊田自動織機 シャイニングベガ
	第1試合	日本精工	13-5	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
6月15日(土)	第2試合	シオノギ	1-4	豊田自動織機 シャイニングベガ
	第1試合	タカギ北九州	10-11	豊田自動織機 シャイニングベガ
6月16日(日)	第2試合	シオノギ	10-0	日本精工 プレイブベアリーズ

※は第2節「西地区」北九州ラウンドで雨天順延となった試合を振替実施

選手・チームのプロフィール、試合結果、全試合のLIVE配信は JD.LEAGUE 公式サイトで

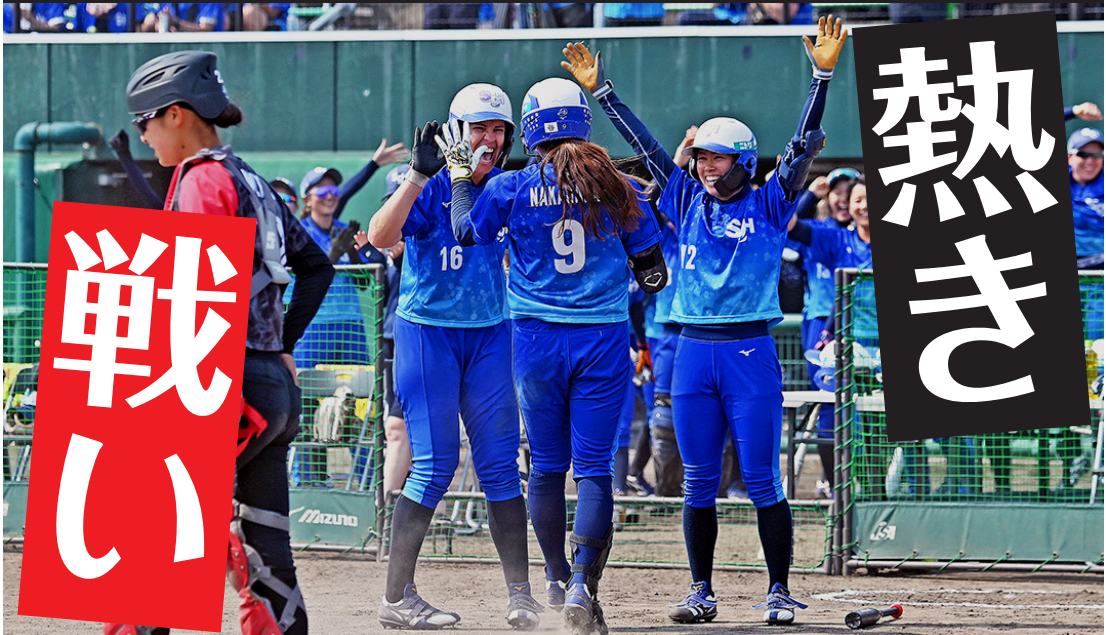
<https://jdleague.jp/>

ニトリ JD.LEAGUE 2024			
東地区 第8節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	日立 サンディーバ	15勝3敗	0.833
2位	ビックカメラ高崎 ビークイーン	14勝4敗	0.778
2位	戸田中央 メディックス 埼玉	14勝4敗	0.778
4位	ホンダ リヴェルタ	11勝7敗	0.611
5位	デンソー ブライトベガサス	8勝10敗	0.444
6位	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	5勝13敗	0.278
6位	大垣 ミナモ	5勝13敗	0.278
8位	太陽誘電 ソルフィュー	4勝14敗	0.222
西地区 第8節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	トヨタ レッドテリアーズ	18勝0敗	1.000
2位	SGホールディングス ギャラクシースターズ	12勝6敗	0.667
2位	シオノギ レインボーストックス兵庫	12勝6敗	0.667
4位	豊田自動織機 シャイニングベガ	10勝8敗	0.556
5位	伊予銀行 ヴェールズ	5勝13敗	0.278
6位	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	4勝14敗	0.222
6位	日本精工 ブレイブベアリーズ	4勝14敗	0.222
8位	東海理化 チェリーブロッサムズ	3勝15敗	0.167



ニトリ  
JD.LEAGUE

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第7節・第8節 西地区第5節



# 戦いはグラウンド上だけじゃない！



雨にも負けず



灼熱の太陽にも負けず



## チームのために 勝利のために…アナリスト奮戦す！

皆さんは「アナリスト」という存在をご存じだろうか？

試合当日、まだ誰もいない球場でビデオカメラを設置。どの角度から撮影し、どのような映像を取めるか、それによってチームに「フィードバックされる「情報」の精度も変わってくる。また、そういった映像をはじめ、グラウンド上でのプレイを注視し、自ら書き留めた相手チームの特徴、それをどのように「噛み砕き」、チームに伝えるかが、「アナリスト」の手腕が問われるところ。

チームにもたらされる「情報」の精度が高ければ高いほど、チームの戦い方は「有利」になり、アナリストの分析力が確かであればあるほど、相手チームの「真の姿」がクッキリと見えてくる。夜を徹した映像編集作業や分析作業もいとわず、それぞれのチームの「勝利のために」全力を尽くす。それがアナリストの任務であり、仕事である。

一昔前までは、試合の合間にユニフォーム姿の選手たちがバックネット裏にビデオカメラを設置しにくる。……といったことが日常的な風景だった。それが、今やどのチームも「専門」のアナリストを置き、相手チームの情報収集・戦力分析に力を注いでいる。それどころか選手志望ではなく、最初からアナリストを志す者が増え、大学・専門学校等にアナリストを養成・育成す



## JD.リーグ各チームに「アナリスト」の存在が定着



## JD.リーグ側も「アナリスト」の重要性を認知



## 「アナリスト」の存在がソフトボールを変える!?

る学科等が設置されるようになってきているのだという。

「JD.リーグ」を球場で観戦したことがある皆さんはご存じかもしれないが、各試合会場のバックネット裏の「特等席」が「チームアナリスト席」として割り当てられ、関係者以外は立ち入り禁止となっている。リーグとしても、各チームが「アナリスト」をどれだけ重要視しているかを理解・認知し、このような措置を取るに至っているのである。

情報を集め、分析する。それは相手チーム、自チームを研究するだけでなく、ひいては「ソフトボール」という競技そのものを見つめ、深く知り、アナライズ(analyze/分析する。解析する)することにつながる。勝つためにどう試合を進めるべきか、そのために必要な人材は? プレイヤーの資質は?? チームの構成は...その「答え」を知っているのは誰なのか。考えてみてほしい。

野球のメジャーリーグの「GM」は競技経験より種々のデータを分析する統計学的センスが求められるという。それと同様に、ソフトボールにおいてもアナリストがいずれGM的役割を担うようになったとしても決しておかしくはない。むしろ「必然」のように思える。

アナリストが「ソフトボールを変えるていく」そんな時代がもうすぐそこまで来ているのかもしれない。

# 令和6年度第1回理事会会議事録

審議に先立ち、本理事会は会場集合方式とインターネット会議方式（Zoomミーティング）の併用とし、出席者が一堂に会するのと同等に適時的・確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認。理事25名中出席20名（欠席5名）、監事出席2名で定款第36条に基づき本理事会は成立することが確認された。



## ● 審議事項

### 第7号議案

#### 役員候補者選考委員会提案事項

審議手順の都合により、第7号議案を先に審議。役員候補者選考委員会・星野一朗委員長より、4月24日の役員候補者選考委員会にて推薦された理事25名及び監事3名について、一名ずつ提案理由が説明された。被推薦者は次の通り。

#### （推薦候補者）

- ・会長候補者  
 牧島かれん（新任）
- ・副会長候補者  
 伏見 妙子  
 （旧姓・宇津木妙子／重任）
- 伊東 秀仁（新任）
- 宇津木麗華（重任）
- ・各地区代表理事候補者  
 佐々木幸治（北海道・新任）
- 鈴木 俊一（東北・重任）
- 磯谷 理義（関東・重任）

- 西 康弘（北信越・重任）
- 亀田 正隆（東海・重任）
- 杉本 義彦（近畿・新任）
- 石井 延明（中国・重任）
- 谷田 圭司（四国・新任）
- 瀬戸山 章（九州・重任）
- ・団体選出理事候補者  
 山下 京子  
 （旧姓・木田京子／大学連・重任）
- 鈴木 優子（高体連・新任）

- ・執行理事推薦候補者  
 神谷 和宏（重任）
- 岡本 友章（重任）
- 岩崎 眞美（新任）
- 八田 祥孝（重任）
- 佐藤 理恵（重任）
- 松田 和広（重任）
- 倉俣 徹（重任）
- 岡田 理恵（新任）
- 田村 光  
 （旧姓・清水光／新任）
- 山田 博子（新任）
- ・監事候補者  
 上村 知裕（重任）
- 鈴木 利夫（新任）
- 赤城 陽一（重任）

以上が提案され、原案通り承認。 6

期日…令和6年5月24日（金）  
 13:00～15:14  
 場所…東京都新宿区／Japan Sport Olympic Square及びインターネット  
 会議方式併用  
 理事現在数…25名  
 出席理事…20名  
 欠席理事…5名  
 出席監事…2名  
 欠席監事…1名  
 議長…三宅 豊

月9日（日）に開催される評議員会に提案されることとなった。

また、これにより女性理事40%、外部理事28%となり、ガバナンスコードで定める比率が達成される見込みであることが併せて報告された。

### 第1号議案

#### 令和5年度事業報告案について

瀬戸山総務委員長より、令和5年度事業報告案が説明された。

公益目的事業、収益目的事業、法人会計の会計ごとに実施された事業の報告を行った他、令和5年度に実施した各会議及び事業の報告、大会の成績、表彰、チーム登録数、審判員記録員指導者の各登録人数が報告・説明され、

審議の結果、「第1号議案」は原案通り承認された。

**第2号議案  
令和5年度決算報告案について**

石井財務委員長より「令和5年度決算報告」が次のように説明された。

令和5年度の全体決算としては、経常収益が8億897万2463円、経常費用が8億8千154万663円となり、当期経常増減額は7千256万8200円の赤字となった。

収支予算対比においては、当初予算で収益が9億5千919万9600円、費用が10億2千941万9600円、補正予算では収益が8億8千475万4909円、費用が9億3千37万186円であったが、収益においては予算対比7千578万2446円の減、費用においては予算対比4千882万9523円の減であった。

なお、過年度特定資産として男子国際大会開催事業1千500万円、普及推進事業500万円の計2千万円を取り崩し、引き当てた。

**【公益目的事業会計の主な増減】**

**※補正予算対比**

経常収益においては予算対比約6千

626万円減の7億4千90万3177円、経常費用においては約2千684万円減の7億8千317万3157円、当期経常増減額は4千2226万9800円のマイナスとなった。

**(1) 経常収益について**

①受取会費は今期より登録料を改定し収入増を図っていたが、チーム、個人審判、記録の各登録料減少に加え、生涯種別の重複登録による個人登録料免除もあり約609万円の減となった。

②出版事業はルールブック・必携・ケースブック・スコアリングマニュアル・指導教本いずれも販売減で約1千804万円の減。

③受取補助金についてJOC(公益財団法人日本オリンピック委員会)選手強化委託金は事業増により約1千523万円増となったが、女子U15ワールドカップの全体的な予算規模縮小の結果、スポーツ振興くじ助成金収入約2千928万円の減、東京都補助金約3千176万円の減となり全体で約4千535万円の減。

④受取負担金は選手選考会や合宿の増により約191万円の増。

⑤受取寄付金はミスノスポーツ振興財団の助成金に加え、女子U15ワールドカップ向けの寄付金で全国の関係者よ

り寄付があり、約314万円の増。

**(2) 経常費用について**

①退職給付費用は今後退職する職員の引当金に充当するもので、期末の不足額を退職給付特別資産に、給与規則上の最大値分を充当した。

②旅費交通費では宿泊費の高騰や天候不順による大会延期等の影響もあり、約260万円の増となった。また、国際大会開催や国内強化合宿については規模が大きいため増加の幅も大きくなっている。一方で会議・講習会等については節約効果により概ね予算よりも減となり、全体として約529万円の減となった。

③海外派遣費では、大会派遣はできるだけ節約を行い、約296万円増となったが、海外強化合宿と国際普及が減となり、全体で約351万円の減。

④通信運搬費では国際大会派遣、国内強化合宿等において荷物送料やWiFi等通信料が増えたため、全体で約248万円の増。

⑤印刷製本費はルールブック・必携等の販売減で製本費も大きく減少。

⑥賃貸料はASOBALL用具在庫保管料の増、燃料費や為替レートの急騰によりバスや会場賃借が高騰したが、節約効果により約319万円の減。

⑦保険料は参加者数の増と大会延期等により増。また、女子U15ワールドカップのイベント保険が関係者・観客含む人数増加により増、全体で約299万円の増となった。

⑧諸謝金は、国際大会開催謝金の対象者減による減と、アジアコーチングセミナーでの謝金をSoftball Asiaが負担したことにより全体で約359万円の減。

⑨租税公課は、消費税の支払いについて今年度決算より公益で計上。

⑩委託費は公認指導者登録者数が増えたことにより登録事業委託費が増したが、普及活動推進委託費において支那活性化等の申請が少なく約724万円の減。

⑪雑費は、全体的に経費節減を行ったこと、女子U15ワールドカップの予算規模縮小により約1千41万円の減となった。

**【収益事業等会計の主な増減】**

**※予算対比**

経常収益においては予算対比約898万円減の3千660万2470円、経常費用においては約291万円増の2千687万2141円、当期経常増減額は973万329円のプラスとなり、全体的に押し下げる結果となった。

（1）経常収益

① 広報事業収益では、ルールブック広告料、会報購読料ともに減少したため、約98万円の減。

② 物販収益では、コイン・バッテリー・会員バッヂともに減少したため、約49万円の減。

③ 推奨公認検定料は、革ボール1社増によりボール検定料は増加したが、バット・ヘルメット・ダブルベース、推奨公認料ともに減少し、約787万円の減。

（2）経常費用

広告宣伝費について、会報発行費用が送料の増加で約271万円の増。

【法人会計の主な増減】

※補正予算対比

経常収益においては予算対比約52万円減の3千146万6816円、経常費用においては約2千489万円減の7千149万5365円、当期経常増減額は4千2万8549円のマイナスとなった。

（1）経常収益

受取会費について、今期より登録料を改定し収入増を図っていたが、チーム・個人・審判・記録の各登録数減少に加え、生涯種別の重複登録による個人登録料免除もあり約67万円の減となった。

（2）経常費用

① 旅費交通費では経費節減により約720万円の減。

② 海外派遣費では会議がオンライン中心となり約243万円の減。

③ 通信運搬費では郵便の削減（メール活用）により約317万円の減。

④ 諸謝金では、役員報酬について1月の補正段階予測よりも膨らんだが、国際アドバイザー謝金と報酬費が予測よりも下回ったため約340万円の減。

⑤ 租税公課では、消費税の計上を公益目的事業会計で行うこととした。

以上の説明の後、審議が行われた。

（主な意見・質疑）

〔寺村常務理事からの質疑〕

登録費について単年度予算に対して609万円少なかったとのことだが、昨年度登録料を値上げしているのだから増収になっていないか。

〔石井財務委員長の答弁〕

昨年度より約9千万円増えている。

〔岡本専務理事の補足説明〕

登録人数が1万4367名重複しており約1千400万円の登録費が支払い免除となっている。シニアの方が壮年、実年、シニアに出場可能だが集計は取れていない。今後評議員会等にかけて重複はどうするのか検討をお願いし、参加料をいただくようにしたいと考えている。

続いて赤城監事より、業務監査報告が行われ、適正に処理されていることが報告された。

併せて監事所見として、昨年度登録費等の値上げをしているが今回も赤字決算となっており、今後この赤字をどのように解消していくのか、赤字決算にならないためにどのようなことが必要か、理事全員で共有して長期的ビジョンの策定及び対策の構築が必要であるとの報告が付与された。

また、伊藤章子公認会計士から報告を受けた内容について説明があり、本会計が公益法人会計の基準に準拠して、適正に会計処理がなされており、当該財務諸表に係る期間の財産及び損益の状態を、すべての重要な点において適正に表示していることを認めること、また、財産目録に関しても、公益法人

会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める旨の説明も付与された。

これに付随して、矢端事務局長から、基本財産3億円（デリバティブ内包型預金）について三菱UFJ信託銀行との交渉経過について補足説明がなされ、三宅会長より、本件について途中解約するのか、そのまま保持するののかについて今後議論してほしいとの意見が出された。

以上の説明を受け、審議が行われ、「第2号議案」は原案通り承認された。

第3号議案

総務委員会提案事項

瀬戸山総務委員長から総務委員会からの提案7点について説明された。

（1）クラブ女子選手権と

実業団女子選手権の  
統合検討について

過去7年間の登録数及び大会参加チーム数が示され、特に実業団女子の参加チーム数が減少しており、統合を検討したが、歴史のある大会であることから結論は理事会に委ねたいということ意見が集約されたことが説明さ



れた。

統合を承認する場合、種別の整理・大会名称・全日本総合との棲み分け・ブロック予選会を実施する・しない等について確認が必要となることが併せて説明された。

審議の結果、**常務理事会にて継続審議**とすることが承認された。

(2) 教員大会の予選形態と参加チーム数について

総務委員会で検討の結果、次の内容で形態を変更する。

- ①令和7年度よりブロック予選を無くし都道府県に出場権を与える。
- ②チーム数は登録都道府県+開催地+前年度優勝、準優勝チームを加えた32チームを維持。
- ③登録チーム数に応じて適宜補充(事前調査)。

以上が提案され、原案通り承認。

(3) 棄権に関する取り扱いについて

- ①抽選会以降の不出場表明を棄権として取り扱い、参加料返金なし。
- ②当該チームへの処分については倫理コンプライアンス委員会に諮り理事会で決定。
- ③令和7年度「競技者必携」に掲載。

以上が提案され、原案通り承認。

(4) 指導者資格有持者不在時の取扱いについて

昨年より確認時に指導者資格保有者が不在の場合、暫定的に始末書を当該県協会より提出させ、2名以上の資格取得を確保することで試合実施を認めていたが、猶予を撤廃し、指導者資格保有者不在の場合は即時棄権扱いとし、大会開始直前または開始後に発生した回避できない事情の場合は競技委員長が慎重に状況を判断・決定してはどうかという意見が出された。今後このような事態が発生しないよう、チームには複数名の資格保有者の大会参加を求め、各都道府県協会経由で周知徹底することが提案された。



総務委員からの提案事項を説明する瀬戸山総務委員長

この提案を受け、審議が行われ、対応としては現状のままとし、大会参加申込の前に、日本協会から各都道府県協会宛に、出場するチームに対して、指導者資格保有者が不在とならないよう、大会参加申込時、また大会参加時に十分留意するよう、改めて確認を依頼する旨の文書を出した上で、さらなる周知撤退を諮っていくことが了承された。

(5) 高校選抜大会における得点差コールドゲームの取り扱い

高体連からの要望で、従来、5回以降7点以上の差が生じたときのみ得点差コールドゲームを適用してきたが、オフィシャルルール通り3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じたときに適用とすることが提案され、原案通り承認された。

(6) サスペンデッドゲームに関する考え方の整理

審判委員会でも議論した結果として、主催者と両チームにより協議して決定するのが良いのでは……ということになり、大会要項に明記することが提案され、原案通り承認された。

(7) 小学生種別の投球距離変更について

令和7年度より実施される投球距離変更に関連して、塁間距離変更についても検討することとした。

具体的には、各地区総務委員により、投球距離10、67m↓12、19m、塁間距離16、76m↓18、29mでの投球→二塁送球にかかる時間を測定し、総務委員会で集計することとし、**総務委員会で継続審議**とすることになった。

また、**サスペンデッドゲーム**となった場合は、「1試合」とはカウントしない(雨天順延等でダブルヘッダーを行う場合、「サスペンデッドゲーム」は1試合とカウントしない)ことが確認され、**理事会としての統一見解**が示された。

第4号議案 選手強化本部会提案事項

松田選手強化本部長より、3件の提案がなされ、併せて2件の報告が行われた。

(1) 提案

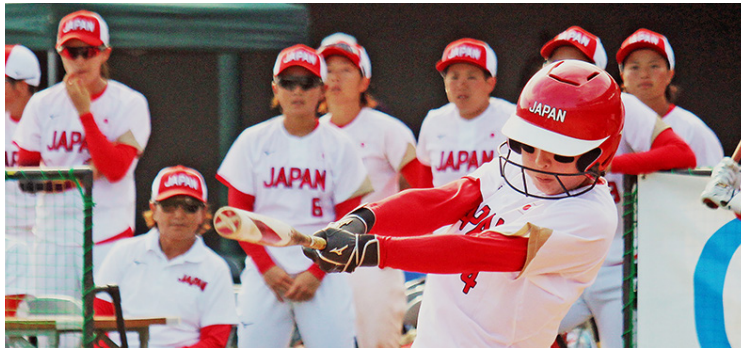
- ①令和6年度男子TOP日本代表チー

ム選手選考会（6月11日（火）～14日（金）／高知県高知市）を実施し、「第18回男子ワールドカップグループステージ」（9月17日（火）～21日（土）／アメリカ・オクラホマシティ）に派遣するが、選考から派遣までの期間が短いため、選考結果は文書（メール）による連絡・承認とする（第18回男子ワールドカップグループステージ出場メンバーはこちら）。



男子TOP日本代表の選手選考会が実施され、代表選手16名を決定した

②令和6年度女子TOP日本代表チームの日米対抗派遣メンバー及び女子ワールドカップ派遣メンバーについて提案（日米対抗・ワールドカップ出場メンバーはこちら）。



日米対抗、ワールドカップに出場する女子TOP日本代表メンバーも決定！

③大学女子アジアカップについて、選考会を7月に実施し、10月の派遣まで一度も集まる機会がないため、10月11日（金）の出発前に調整を含めた直前合宿を2日間程実施する。

（2）報告

①令和6年度女子U18日本代表チーム選手選考会の結果を報告。

②日韓交流事業実施日程

招待：令和6年8月2日（金）～7日（水）／群馬県高崎市

派遣：令和6年11月9日（土）～14日（木）／韓国・派遣場所未定

※令和5年度高校選抜大会優勝チーム（多治見西高等学校）を派遣する。

以上が提案・報告され、審議が行われ、提案事項についてはいずれも原案通り承認された。

第5号議案

支部功労者表彰について

岡本専務理事及び鈴木理事より、令和5年度支部功労者69名並びに日本ソフトボール協会賞を三重ヴェルデウイン（全日本クラブ男子選手権優勝及び日本男子リーグ優勝）に贈呈することが提案され、原案通り承認された。

第6号議案

外部評議員候補被推薦者

岡本専務理事より、令和6年度～令

和9年度評議員被候補者4名が提案された。

これに伴い、矢端事務局長より、全評議員中5%は外部評議員とする必要があり、定款で評議員の上限は55名となっており、現在の50名に今回4名の外部評議員を加えることで達成見込みであること、5%の女性評議員については現在の50名中4名が女性であることから既に達成していることが補足説明された。

本理事会で承認を得て5月29日（水）13時から開催される「評議員選定委員会」に提案。そこでの承認を経て、6月9日（日）の評議員会で報告するという流れとなることが説明され、原案通り承認された。



第8号議案

組織規程(案)について

第9号議案

令和6年度J S A業務執行態勢(案)について

岡本専務理事より、組織規程(案)及び業務執行態勢(案)について一括提案がなされた。

〈主な質疑・意見〉

〈三宅会長からの説明・意見〉

理事の構成上専門性に欠ける部分があるので委員長は理事でなくてもなれること、国際本部の中にベースボール5委員会があるが、常務理事会で普及の方に変更する意見が出ており、修正予定である。

またベースボール5委員会は野球連盟と一緒にやっているの、これはこれで普及とは別に議論・整理していただきたい。

〈矢端事務局からの補足説明〉

協会組織規程(案)の第8条に、競技者、当該専門委員会の所管事項に関する専門家(監事)と記載があるが、監事については一旦削除していただきたい。

以上の説明・意見を受け、審議が行

われ、いずれも原案通り承認された。

第10号議案

職員服務規程(給与規則)の改定について

岡本専務理事より、職員服務規程第14条住居手当の改定について提案され、原案通り承認された。

第11号議案

リトルリーグについて

矢端事務局長より、アジアパシフィック大会及び世界大会に参加するに当たり国際登録を行う必要があることが説明された。来年3月の春季大会優勝チームを本大会に派遣することが決定しており、日本国内の交通費及びパスポート取得費用は自己負担となる。

理事会で承認を得られれば、本年7月に秋田で開催の全日本小学生女子大会でブースを設置し、ルールの違い等について説明予定。

以上が説明され、審議が行われ、原案通り承認された。

第12号議案

新意匠球について

岡本専務理事より、新意匠球金型加

硫型の協会負担については次のように取り扱うことが提案された。

- ① 毎年500万円がJ S Aに支払われ、うち500万円を5年間メーカーに金型代として支払う。
- ② その間、J S Aに残るのは実質年間200万円となる。

以上が説明され、2026年4月からの新意匠球導入に向け、理解が求められた。

〈主な質疑・意見〉

〈三宅会長の意見〉

新意匠球の採用が先延ばしになってしまふのは避けたいので、方向性については賛同するが、検定料のパーセンテージについてももう少し検討してもらいたい。5%ないしは、最低でも3%程度で調整を行えないか。

以上の説明・意見を受け、審議が行われ、原案通り承認された。

第13号議案

S N Sを活用した広報活動について

八田常務理事より、2026年愛知・名古屋アジア競技大会、2028年ロサンゼルスオリンピックに向けて女子TOP日本代表専用のSNSアカウント作成が提案され(本広報活動をスタートするにあたり費用の追加はないと説明)、原案通り承認された。

第14号議案

令和6年度第1回定時評議員会の開催について

岡本専務理事より、令和6年6月9日(日)13:00~15:00、東京都港区・



品川プリンスホテルで開催される「第1回定時評議員会」について提案され、原案通り承認された。

### 第15号議案

#### 国際大会派遣競技役員について

岡本専務理事より、2024年度国際大会派遣審判員、記録員、TD（テクニカルディレクター）/TC（テクニカルコミッティ）の提案がなされ、原案通り承認された。

## ●報告事項

### （1）専門委員会報告事項

#### ・総務委員会

瀬戸山総務委員長より、第1回総務委員会議事内容について報告された。

### （2）各全国大会報告

岡本専務理事より、各大会の派遣報告書に目を通し、現状把握を行うよう要請された。

### （3）WBS C 執行理事会報告

宇津木妙子副会長より、5月10日（金）・11日（土）にスイス・ジュリーで開催されたWBS C（世界野球ソフトボール連盟）10周年記念イベントに

参加したことが報告され、チエコは2028年ロサンゼルスオリンピックに向けてチーム強化をスタートさせており、今年はお断りしたが2025年8月に代表チームの来日・強化の申し入れがあり、関東の大学を中心に受け入れ予定。東京を拠点に埼玉、高崎での練習試合を行う構想があることが報告された（費用については全額チエコ負担）。

### （4）能登半島地震義援活動について

矢端事務局長より、5月18日（土）に支援物資として検定用バット400本を日本協会事務局・久下課長の自家用車で石川県に運び、贈呈したことが報告された。

#### ・その他

岡本専務理事より次の事項について報告・説明された。

### ① J D ・ リーグ 派遣 について

今期はJSAからの理事派遣は行っていないが、共同主催契約を締結しており、内閣府からの指摘を受ける可能性があるため後期から各県の理事長に派遣依頼をお願いし、業務執行理事は節目・要所で別個に派遣する可能性もあることが説明・報告された。

### ② J S A 事務局 昼休みに ついて

現在職員は12時から13時の昼休みに当たる時間も電話対応している状態にある。先日の常務理事会において交代制で昼休みを取る案も出たが、6月1日から12時から13時は昼休みとし、電話対応は行わないことが報告され、理解が求められた。

### ③ 旅費 について

以前に都区内1万5000円、政令指定都市1万2000円、その他1万円としていたが、本件について今後検討を行っていく。

### ④ クラウドファンディング

#### 結果 について

募金総額705万9000円（募金者125名+19名）が集まり、手数料を差し引いた555万1318円が6月10日（月）にJSAに入金されること報告され、有効活用していく旨の説明がなされた。

### ⑤ 高体連登録料 について

寺村常務理事より部員が1人であった

ても3人であってもチーム登録を行う際には登録料が発生しており、3校合同チームの場合、3校合同で1チームを編成しているのに、それぞれが登録料を支払い、3チーム分の登録料を支払っている状況にある。これでは生徒の経済的負担が大きくなってしまいうので、今後の普及の観点から見直しを検討いただきたいとの意見が出された。

また、機関誌購読料について、その取り扱いが確認された。

これに対し、三宅会長より、生涯種別で重複している選手の個人登録料と合わせて検討課題とすることが確認され、了承された。

### ⑦ 守備者のサングラス について

神谷審判委員長より前回の理事会で、試合中の選手がサングラスをかけない場合、ベンチに置く措置をとることとしたが、審判委員会からの要望として、選手のケガ、試合時間短縮の両面から、外野手に関しては帽子の上に掛けることを認めてほしいとの要望が出された。これはリーグ以外の各種別の大会においても申し合わせ事項で認めていることから、今後試合進行や選手のプレイに支障をきたした場合は、見直すことを条件に、審判部の提案を認めることとなった。

# 令和6年度第2回理事会会議事録

審議に先立ち、本理事会は会場集合方式とインターネット会議方式（Zoomミーティング）の併用とし、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認。理事25名中出席18名（欠席5名）、監事出席3名で定款第36条に基づき本理事会は成立することが確認された。



## ● 審議事項

### 第1号議案

名誉会長・顧問の任命及び再任について

岡本専務理事より、名誉会長に三宅豊氏（現会長）、顧問に荒木田裕子氏（現副会長）を推薦することが提案され、いずれも原案通り承認された。併せてすでに名誉会長、顧問、参与に任命されている方々については、そのまま引き続き再任とすることが確認され、了承された。

### 第2号議案

特別表彰について

鈴木理事より、男子U23日本代表チーム（第1回男子U23ワールドカップ準優勝）、男子U18日本代表チーム（第14回男子U18ワールドカップ優勝）の2チームを、日本協会「特別表彰」とすることが提案され、原案通り承認。この理事会の後、開催される評議員会の席上で表彰することになった。

### 第3号議案

選手強化本部提案事項

松田選手強化本部長より「第4回大女子アジアカップ」のコーチングスタッフについて、次の3名を推薦することが提案され、原案通り承認された。

〔ヘッドコーチ〕

佐藤理恵氏（東京女子体育大監督）

〔アシスタントコーチ〕

渡邊華月氏（園田学園女子大コーチ）

〔アシスタントコーチ

兼マネージャー〕

山根佐由里氏（中京大コーチ）

※トレーナーについては調整中

また、選手選考結果については新理事の皆さんに文書（メール）で連絡することが併せて承認された。

### 第4号議案

天皇杯・皇后杯

授与保管規程について

岡本専務理事より、従前より宮内庁に申請していた天皇杯・皇后杯を授与するにあたり、保管規程が必要とのこ

期日…令和6年6月9日（日）

10:00～11:00

場所…東京都港区

品川プリンスホテル

及びインターネット会議

方式併用

理事現在数…25名

出席理事…18名

欠席理事…7名

出席監事…3名

議長…三宅 豊

とから、日本サッカー協会並びに日本卓球協会の授与保管規程を参考に新たに規定を作成したことが説明され、原案通り承認された。

### 第5号議案

能登半島地震義援活動について

矢端事務局長より、令和6年度の全日本大会で義援金を集めることについて、すでに常務理事会では承認されている事項ではあるが、まだ理事会での承認を得ていなかったことから、改めて議題として本理事会に提案された。

ここで承認が得られれば、評議員会の最後に、本件の幹事である富山県協会・廣瀬理事長から評議員会で報告し、開催地協会へ協力を要請することが説

明された。  
審議の結果、「第5号議案」は原案通り承認された。

## ● 報告事項

### （1）専門委員会報告事項

成田医事委員長より、昨年9月の第1回並びに本年3月の第2回医事委員会議事録について詳細が報告された。

昨夏の全日本小学生男子大会では給水タイムを取ったにもかかわらず選手・審判の熱中症が20名近く出てしまい、今年もJSPPO（公益財団法人日本スポーツ協会）等から注意喚起の文書が出ていることが改めて説明され、報告された。

ただ、給水だけで熱中症を予防することは難しく、クーリングベストなどの身体冷却も併用することが必要との見解が示された。

また、アンチ・ドーピング講習会開催にあたりJADA（公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構）の承認 Educator 資格がないと開催してはならないという通達が出されているが、人数的に対面での講習会実施が難しいため、薬の使用特例について動画教材を作成し、オンデマンドにて選手

及び指導者に視聴してもらおう研修会に変えていくとの報告がなされた。

この報告に関連し、宇津木妙子副会長から、本来であればJ.D. リーグの選手たちにもアンチ・ドーピングに関する講習や教育が必要だが、あれだけのチーム数・選手数を一同に集めることは難しい状況下にある。その場合の講習・教育のあり方について質問があり、成田医事委員長より、チームのトレーナーを対象に毎年夏に研修会を実施し、各チームの選手に情報伝達する方法を取っていることが説明された。

JADAからも直接選手に対して研修会を開くよう要請・指示されているが、全チーム・全選手一斉に同じ日時に受講することは現実的・物理的に難しく、オンデマンド方式での実施を予定していることが説明された。

また、受講後はグーグルフォーム等を利用し、講習内容のフィードバック・報告を義務づけていく予定であることが併せて報告・了承された。

### （2）ナショナルコーチアカデミー

#### 受講について

矢端事務局長より「令和6年度JOC C ナショナルコーチアカデミー受講者」が上野由岐子氏に正式決定したことが報告された。

### （3）令和9年度以降の

#### 全国中学校体育大会について

矢端事務局長より、令和9年度以降、女子は継続されるが、男子ソフトボールが中体連全国大会の種目から外れることが報告された。

参考情報として中学生男子の競技人口は15年前の2869名に対し、令和5年度が1008名。中学生女子は平成21年の5万7772名に対し、令和5年が2万5234名。高校男子は平成21年の6566名に対し、令和5年が3538名。高校女子は平成21年の2万6178名に対し、令和5年が1万4089名と軒並み減少していることが報告された。

### （4）その他

#### ①名鉄観光サービスとの協賛契約について

矢端事務局長より夏の全日本小学生男女大会及び春季全日本小学生男女大会計4大会で200万円の協賛契約を締結している名鉄観光サービスについて、契約内容は強制ではないものの、宿泊斡旋依頼が少なく、現段階では今後の契約継続が難しい状況にあることが報告された。

大会開催の際は、主管協会から参加チームに対する宿泊斡旋に関する働きかけ、呼びかけを行ってほしいとの協力が要請された。

#### ②全国大会派遣について

岡本専務理事よりガバナンスコードに基づき、新たな組織体制となり、理事が業務執行理事（常務理事）を審査する体制となった際、大会派遣は常務理事以上が行うこととなっている。派遣できない場合は、開催県の理事長にお願いすることになるが、JSAからの日当支給はなく、大会委託費の中で対応するよう、その取り扱いが改めて説明され、協力が要請された（大会派遣報告書の提出は必須）。

現在、業務執行理事が対応する大会を決めているところだが、大会が多いため、整理する必要があることが説明・報告された。

最後に岡本専務理事から、今回をもって退任される理事・監事が紹介され、理事・監事各位から挨拶があった。

また、これに関連し、三宅会長から今回自分自身も退任するタイミングとあってしまし恐縮だが、たとえ1期であつても理事の重責を担われた方には、感謝状を贈呈することを継続するよう新会長に提案してほしいとの要望が出された。

# 令和6年度 第1回定時評議員会議事録

審議に先立ち、令和5年度各種表彰の授与式が実施された。

- ・支部功労者表彰 69名
- ・終身審判員表彰 52名
- ・終身記録員表彰 14名

- ・日本ソフトボール協会表彰
- ・三重ヴェルデウィン

※全日本クラブ男子選手権優勝  
日本男子リーグ優勝

・特別表彰

男子U23日本代表チーム

※第1回男子U23ワールドカップ

準優勝

男子U18日本代表チーム

※第14回男子U18ワールドカップ

優勝

評議員総数50名のうち出席44名で定款第6章第23条に基づき、本評議員会は成立。審議に先立ち、本評議員会は会場集合方式とインターネット会議方式(Zoomミーティング)の併用とし、出席者が一堂に会するの同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となることが確認された。

## ●審議事項

### 第1号議案

議長長の選出について

三宅会長より、定款第22条3項に基づき、出席評議員の中から議長選出する旨の説明があり、大阪府・杉本義彦評議員から兵庫県・亀田敦宣評議員を推薦することが提案され、全会一致で承認。亀田評議員が今回の評議員会における議長を務めることとなった。

### 第2号議案

議事録署名人の選出について

議長より、議事録署名人の選出について、宮城県・高橋文評議員、石川県・河上和之評議員を任命する旨の提案があり、全会一致で承認された。

### 第3号議案

令和5年度事業報告案

について

瀬戸山総務委員長より令和5年度事

業報告(案)について説明が行われた。公益目的事業、収益目的事業、法人会計の会計ごとを実施された事業の報告を行った他、令和5年度に実施した各会議及び事業の報告、大会の成績、表彰、チーム登録数、審判員・記録員・指導者の各登録人数が報告された。これらの説明を受けて審議が行われ、審議の結果、「第3号議案」(令和5年度事業報告案)は賛成多数で承認された。

### 第4号議案

令和5年度決算報告案

について

石井財務委員長より「令和5年度決算報告案」が次のように説明された。

令和5年度の全体決算としては、經常収益が8億897万2463円、經常費用が8億8千154万663円となり、当期經常増減額は7千256万8200円の赤字となった。収支予算対比においては、当初予算で収益が9億5千919万9600円、費用が10億2千941万9600円、補正予算では収益が8億8千475万490

期日..令和6年6月9日(日)  
13:00~15:00  
場所..東京都港区  
品川プリンスホテル  
及びインターネット会議方式

併用

評議員現在数..50名  
出席評議員..44名  
欠席評議員..6名  
理事現在数..25名  
出席理事..20名  
欠席理事..5名  
出席監事..3名

9円、費用が9億3千37万186円であったが、収益においては予算対比7千578万2446円の減、費用においては予算対比4千882万9523円の減であった。

なお、過年度特定資産として男子国際大会開催事業1千500万円、普及推進事業500万円の計2千万円を取り崩し、引き当てた。

### 【公益目的事業会計の主な増減】

※補正予算対比

經常収益においては予算対比約6千626万円減の7億4千90万3177円、經常費用においては約2千684万円減の7億8千317万3157円、当期經常増減額は4千222万9

980円のマイナスとなった。

（1）経常収益について

- ①受取会費は本期より登録料を改定し、収入増を図っていたが、チーム、個人審判、記録の各登録料減少に加え、生涯種別の重複登録による個人登録料免除もあり約609万円の減。
- ②出版事業はルールブック・必携・ケースブック・スコアリングマニュアル・指導教本いずれも販売減で約1千804万円の減。
- ③受取補助金についてJOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）選手強化委託金は事業増により約1千523万円増となったが、女子U15ワールドカップの全体的な予算規模縮小の結果、スポーツ振興くじ助成金収入約2千928万円の減、東京都補助金約3千176万円の減となり全体で約4千535万円の減。
- ④受取負担金は選手選考会や合宿の増により約191万円の増。
- ⑤受取寄付金はミズノスポーツ振興財団の助成金に加え、女子U15ワールドカップ向けの寄付金で約314万円増。

（2）経常費用について

- ①退職給付費用は今後退職する職員の引当金に充当するもので、期末の不足額を退職給付特別資産に、給与規則上

の最大値分を充当した。

- ②旅費交通費では宿泊費の高騰や天候不順による大会延期等の影響もあり、約260万円の増となった。また、国際大会開催や国内強化合宿については規模が大きいため増加の幅も大きくなっている。一方で会議・講習会等については節約効果により概ね予算よりも減となり、全体として約529万円減。
- ③海外派遣費では、大会派遣はできるだけ節約を行い、約296万円増となったが、海外強化合宿と国際普及が減となり、全体で約351万円の減。
- ④通信運搬費では国際大会派遣、国内強化合宿等において荷物送料やWiFi等通信料が増えたため、全体で約248万円の増。
- ⑤印刷製本費はルールブック・必携等の販売減で製本費も大きく減少。
- ⑥賃貸料はASOBAL用具在庫保管料の増、燃料費や為替レートの急騰によりバスや会場賃借料が高騰したが、節約効果により約319万円の減。
- ⑦保険料は参加者数の増と大会延期等により増。また、女子U15ワールドカップのイベント保険が関係者・観客含む人数増加により増、全体で約299万円の増となった。
- ⑧謝金は、国際大会開催謝金の対象者減による減と、アジアコーピングセミナーでの謝金をSoftball

Asiaが負担したことにより全体で約359万円の減。

- ⑨租税公課は、消費税の支払いについて今年度決算より公益で計上。
- ⑩委託費は公認指導者登録者数が増えたことにより登録事業委託費が増したが、普及活動推進委託費において支部活性化等の申請が少なく約724万円の減。
- ⑪雑費は、全体的に経費節減を行ったこと、女子U15ワールドカップの予算規模縮小により約1千41万円の減となった。

【収益事業等会計の主な増減】

※予算対比

経常収益においては予算対比約898万円減の3千660万2千470円、経常費用においては約291万円増の2千687万2千141円、当期経常増減額は973万3千299円のプラスとなり全体的に押し下げる結果となった。

（1）経常収益

- ①広報事業収益では、ルールブック広告料、会報購読料ともに減少したため、約98万円の減。
- ②物販収益では、コイン・バットリング・会員バッジともに減少したため、約49万円の減。

③推奨公認検定料は、革ボール1社増によりボール検定料は増加したが、バット・ヘルメット・ダブルベース、推奨公認料ともに減少し、約787万円の減。

（2）経常費用

広告宣伝費について、会報発行費用が送料の増加で約271万円の増。

【法人会計の主な増減】

※補正予算対比

経常収益においては予算対比約52万円減の3千146万6千816円、経常費用においては約2千489万円減の7千149万5千365円、当期経常増減額は4千2万8千549円のマイナスとなった。

（1）経常収益

受取会費について、本期より登録料を改定し収入増を図っていたが、チーム・個人・審判・記録の各登録料減少に加え、生涯種別の重複登録による個人登録料免除もあり約67万円の減となった。

（2）経常費用

- ①旅費交通費では経費節減により約720万円の減。
- ②海外派遣費では会議がオンライン中



心となり約243万円の減。

③通信運搬費では郵便の削減(メール活用)により約317万円の減。

③諸謝金では、役員報酬について1月の補正段階予測よりも膨らんだが、国際アドバイザー謝金と報酬費が予測よりも下回ったため約340万円の減。

④租税公課では、消費税の計上を公益目的事業会計で行うこととした。

続いて赤城監事より、業務監査報告が行われ、適正に処理されていることが報告された。

併せて監事所見として、昨年度登録費等の値上げをしているが今回も赤字決算となっており、今後この赤字をどのように解消していくのか、赤字決算にならないためにどのようなことが必要か、理事全員で共有して長期的ビジョンの策定及び対策の構築が必要であるとの報告が付与された。

また、伊藤章子公認会計士から説明報告を受けた内容について説明があり、本会計が公益法人会計の基準に準拠して、適正に会計処理がなされており、当該財務諸表に係る期間の財産及び損益の状態を、すべての重要な点において適正に表示していることを認めること、また、財産目録に関しても、公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める旨の説明も付与された。

以上の説明・提案、監査報告を受け、次の質疑応答が行われた。

〔千葉県・井之上評議員質問要旨〕

これまでの説明は予算との比較であり、予算は昨年値上げを前提として作成された予算になると思うが、受取会費は昨年と比較し実際にいくら増えたのか、どのような使途により8千万円の赤字になったのか、経緯・内容を説明していただきたい。

《石井財務委員長答弁》

受取登録料は昨年度と対比し9千35万9900円増えている。

〔千葉県・井之上評議員質問要旨〕

9千万増えたのに赤字が8千万とのことだが差し引き1億7千万は何に、どのように、執行されたのか。来年度の見直しはどうか、なぜ8千万の赤字になったのか説明いただきたい。

《石井財務委員長答弁》

令和4年度未消化の大会を5年度に消化したことが大きな要因となっている。令和6年度は収支プラスマイナゼロで予算化しており、今後チーム登録数・審判員登録数減で若干収入は減っていくと予想される。経費の見直し及び重複登録の見直しを理事会で検討させていただきたい。

《岡本専務理事補足説明》

先ほど瀬戸山常務理事から説明があった通り、1万4367名の重複登録があり、一人千円と考えても約1千400万円が未徴収となるような状態で見通しが甘かったと認識せざるを得ない。また昨年職員が定年退職し、退職金積み立てを行っていないことも重なった。来年は正常化する見込みであり、重複登録についての考え方・取り扱いについても評議員会にお諮りするかどうかを含め検討させていただきたい。

〔岡山県・金田評議員質問要旨〕

7%〜10%の補正予算を組まなければいけないという精度の低さ、2月の評議員会で財務委員長から「大雑把な予算」との発言もあったが、その大雑把な予算に対しての見直しをどのように行っているのか。旧・日本女子リーグ1部の時代には支部協会がチケットを売り、日本協会に貢献したが、J.D.リーグになって球場はガラガラで、チームの意向が反映されているように思えない。J.D.リーグの今後の見通しをどのように考えているのか、収益に繋がるような運営が実現するようにしていただきたいし、J.D.リーグの収益についてもお示しいただきたい。

併せてMIRAI事業(旧N.T.S)について、普及なのか強化なのか分からないが、今年度は県協会主導で、予算は付けないが事業計画書と報告書は提出せよ……とのことだが、このようなあり方で将来的な選手の強化・普及につながるのか甚だ疑問に思っている。見通しの明るい対策をお願いしたい。

《石井財務委員長答弁》

補正予算等の精度については見直しを取るなりしなければならぬと考えている。

《岡本専務理事答弁》

J.D.リーグについてはJ.D.リーグ・中谷専務理事に新たに日本協会の



〔第4号議案〕(収支決算案)について質問する千葉県・井之上評議員



質問に立つ岡山県・金田評議員

評議員に入っていたいただき、日本協会の宇津木副会長にはキャプテン、矢端事務局長には理事としてJ.D.リーグの組織に入り、しっかりと管理・監督していただいている。

《矢端事務局長答弁》

NTSに関してはtoto助成を活用しており、毎年内容を精査されている。基本的には「普及事業」であり、強化の内容が含まれるとtotoの事業としては成り立たない。NTSは「普及事業」であって「強化」とは切り離すとご理解いただきたい。

「岡山県・金田評議員質問要旨」

普及であれば尚更予算を付けるべきではないか。しっかりと精査・検証しただきたい。

赤字決算について何年続いているのか。お答えいただきたい。

《岡本専務理事答弁》

令和元年・2年が赤字、令和3年に赤字解消し、黒字。令和4年・5年が赤字決算となっている。

以上の質疑応答を受け、審議が行われ、審議の結果、「第4号議案」（令和5年度収支決算案）は賛成多数により原案通り承認された。

第5号議案

令和6・7年度

理事・監事について

役員選考委員会・星野一朗委員長より、4月24日の役員候補者選考委員会にて推挙され、5月24日の令和6年度第1回理事会で了承された理事候補者25名及び監事候補者3名の提案がなされた。

また、この候補者構成により、女性理事40%、外部理事28%となり、「競技団体ガバナンスコード」の基準を達成する見込みであることが併せて説明され、一人ひとり名前と略歴が紹介され、審議が行われた。

- ・会長候補者  
牧島かれん（新任）
- ・副会長候補者  
伏見 妙子

- （旧姓・宇津木妙子／重任）  
伊東 秀仁（新任）
- 宇津木麗華（重任）
- ・各地区代表理事候補者  
佐々木幸治（北海道・新任）

- 鈴木 俊一（東北・重任）

- 磯谷 理義（関東・重任）

- 西 康弘（北信越・重任）

- 亀田 正隆（東海・重任）

- 杉本 義彦（近畿・新任）

- 石井 延明（中国・重任）

- 谷田 圭司（四国・新任）

- 瀬戸山 章（九州・重任）

- ・団体選出理事候補者

- 山下 京子

- （旧姓・木田京子／大学連・重任）

- 鈴木 優子（高体連・新任）

- ・執行理事推薦候補者

- 神谷 和宏（重任）

- 岡本 友章（重任）

- 岩崎 眞美（新任）

- 八田 祥孝（重任）

- 佐藤 理恵（重任）

- 松田 和広（重任）

- 倉俣 徹（重任）

- 岡田 理恵（新任）

- 田村 光

- （旧姓・清水光／新任）

- 山田 博子（新任）

- ・監事候補者

- 上村 知裕（重任）

- 鈴木 利夫（新任）
- 赤城 陽一（重任）

この後、牧島会長候補者についても少し詳細説明いただきたいとの要望が出され、牧島会長候補者は国会議員を4期12年務め、神奈川県ソフトボール協会の副会長でもあり、国際基督教大学卒業後、ジョージワシントン大学で修士号を取られた国際感覚をお持ちの方で、国会議員として多忙な中でも時間を割いてソフトボール協会の業務を担う覚悟・決意を持たれていることが星野委員長より説明された。

続いて、群馬県・北澤評議員より、従前は審判長及び記録長は理事に選出されていたが今回記録長が理事候補者から外れた経緯について説明が求められ、従来は最初に会長を決定し、会長が3名の副会長を選任し、その後会長推薦理事を選出するような手順を取っていたが、ガバナンスコードに沿った選出手順ではなく、また組織の多様性について上部団体から指摘を受け、今回は9ブロックと学連は各団体で選任いただき、従来の会長推薦理事について常務理事会推薦に変更。選考委員会を立ち上げ外部の選考委員にも入っていただき、選出した結果、今回の理事25名が提案される流れとなっていることが矢端事務局長から説明された。

以上の説明・質疑応答を経て、審議が行われ、審議の結果、「令和6・7年度理事・監事」については、賛成多数により原案通り承認された。

続いて、岡本専務理事より「名誉会長」に三宅豊氏、「顧問」に荒木田裕子氏を推薦することが提案され、すでに名誉会長、顧問に就任されている方々については再任とすることが併せて提案され、審議の結果賛成多数で承認された。

## ●報告事項

### 1. 評議員選定委員会報告

岡本専務理事より、令和6年5月29日及び6月7日の評議員選定委員会で開催された外部有識者を含む計54名の候補者名簿が提示された。

### 2. その他

北信越協会選出の西理事並びに富山県の廣瀬評議員より「能登半島地震復旧・復興支援ASOBALL・バット寄贈プロジェクト(案)」について説明された。日本協会が主催する全日本大会を主

管する都道府県協会にて募金活動を行い、ASOBALLセットを購入し、被災した石川県能登地区の小学校49校に寄贈するという企画であり、開催地協会へ協力が要請された。

以上ですべての議題が終了し、議長より、兵庫県でも全日本ハイシニア大会を開催し、48チームが参加予定なので募金活動を是非やらせていただきたいとの企画賛同・協力の意向が示され、議長席より降壇した。



本評議員会で議長を務めた  
兵庫県・亀田評議員

閉会に際し、岡本専務理事より、クラウドファンディング結果並びに大会派遣について報告され、クラウドファンディングについては2月26日から4月19日までの53日間活動し、当初目標300万円を上回る705万9000円が集まったことが報告された。手数料を差し引いた555万1318円が協会に入ってくることになるので普及・強化に有効活用していくと説明・報告され、評議員の皆さまの支援・協

力に対し、謝意が述べられた。

また、経費削減のため、常務理事を派遣しない大会については、地元理事長に派遣理事の役割をお願いすることになり、大会報告書の提出は必須で費用については大会負担金の中から拠出・対応するよう要請された。

坂野理事より、前日にプレスリリースされた令和9年度以降の団体連種目について報告され、本年1月に部活動設置率20%を下回る種目は一律廃止する予定であったが、20%の基準が不透明であること、個人競技と団体競技の20%は意味合いが違うのでは等の要望書や働きかけを行った結果、男子は廃止するが救済措置として女子だけ残すことが決定したことの経緯が改めて説明・報告された。

今後、令和12年に次の見直しを検討される予定であり、女子についても樂觀できない状況にあることが報告され、U15部会といった形で中学生世代のあり方や強化・育成、競技人口・チーム登録数の増加に向けた議論・検討を行える委員会・プロジェクトを立ち上げていただきたいとの要望が出された。

最後に岡本専務理事より、今回退任される理事及び監事11名が紹介され、代表して三宅会長から退任の挨拶があった。



今期限りで退任される理事の皆さんを囲んで、理事・評議員全員で記念写真に収まる。長い間ありがとうございました

# 令和6年度 第3回理事会 会議事録

審議に先立ち、本理事会は会場集合方式とインターネット会議方式（ZOOMミーティング）の併用とし、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いに行える状態となっていることを確認。理事25名中出席21名（欠席4名）、監事出席3名で定款第36条に基づき本理事会は成立することが確認された。また、会長選出まで矢端事務局長が議長を務め、第3回理事会が開始された。

この承認を受け、牧島新会長より会長就任の挨拶があり、以降の議長を務めることとなった。

## 第2号議案 副会長の選出について

牧島会長より、副会長の選定について、立候補、または推薦があるかが理事会へ諮られた。

岡本理事より、新副会長に宇津木妙子理事、宇津木麗華理事、伊東秀仁理事の計3名を推挙する旨の提案があり、それぞれについて審議され、満場一致で**決議・承認**された。

この承認を受け、副会長3名から副会長就任の挨拶があった。

## 第3号議案 専務理事の選出について

牧島会長より、専務理事の選定について、立候補、または推薦があるかが理事会へ諮られた。

宇津木妙子副会長より、新専務理事に岡本友章理事を推挙することが提案され、審議の結果、満場一致で**決議・承認**された。

この承認を受け、岡本専務理事より専務理事就任の挨拶があった。



理事会開始前、退任された三宅名誉会長（前会長）が新理事の皆さんを激励に訪れる「サプライズ」も……

## 【事務連絡】

矢端事務局長より今後の会議日程について事務連絡がなされた。

## ・第4回理事会

日時…6月23日（日）13時  
場所…J S O S（Japan Sport Olympic Square）  
3階第8会議室

期日…令和6年6月9日（日）

15：15～15：45

場所…東京都港区

品川プリンスホテル

及びインターネット会議

方式併用

理事現在数…25名

出席理事…21名

欠席理事…4名

出席監事…3名

議題…常務理事、各本部長並びに

各担当理事、専門委員会の決定

## ・第3回常務理事会

日時…7月3日（水）13時

※オンライン開催

## ・第5回理事会

日時…7月7日（日）13時

場所…J S O S（Japan Sport Olympic Square）

3階及びオンライン併用

※ハイブリッド開催

続いて、新理事並びに事務局員一人ひとり自己紹介が行われ、最後に牧島かれん会長より閉会の挨拶があり、以上ですべての審議は終了し、閉会した。

## ● 審議事項

### 第1号議案

会長の選出について

矢端事務局長より、定款第26条第項により、会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する旨が説明され、立候補、または推薦があるかが理事会へ諮られた。

宇津木妙子理事より、新会長に牧島かれん理事を推挙することが提案され、審議の結果、満場一致で**決議・承認**された。

# 事務局だより

## ソフトボールの 暑い、熱いシーズン♪ 夏の全日本大会がやってくる!

4月に男女ソフトボールのシーズンが本格的に開幕し、5月、6月と全国各地で熱戦が繰り広げられてきたが、7月以降はいよいよ「夏本番」に突入。「ニトリ J.D. LEAGUE 2024」「第57回日本女子リーグ」「第53回日本男子リーグ」はそれぞれ前半戦を終了してサマーブレイクに入り、次は実業団、クラブ、小学生、中学生、高校生、大学生のカテゴリー等が日本一の座を競う「全日本大会」が本格開催されることとなる。



各カテゴリー「夏の全日本大会」を開催!

...



青春の1ページ! 様々な想いを胸に、全国の頂へ!!

7月に入り、まず開催されるのは「全日本クラブ選手権大会」。男子が岡山県新見市、女子が岩手県一関市を舞台に7月20日(土)〜22日(月)の同日程で開催され、矢継ぎ早に「全日本高校女子選手権大会」(※インターハイ女子)、「全日本実業団選手権大会」(※男女同時開催)、「全日本小学生女子大会」(※インターハイ男子)、「全日本小学生男子大会」(※男女ほぼ同日程で開催)、「全国中

学校大会」(※全国中体連/男女同時開催)、「全日本大学女子選手権大会」(※インカレ女子)、「全日本大学男子選手権大会」(※インカレ男子)開催と……まさに大会ラッシュ。さらにソフトボールはこれら競技種別だけではなく、生涯種別の全日本大会も開催しており、7月末には「全日本教員大会」、8月に入ると「全日本レディース大会」、「全日本一般男子大会」、「全日本実業団大会」が次々と開催される予定になっている。



生涯種別も全国各地で全日本大会を開催

男女とも子どもたちからハイシニア(68歳以上の男子で編成されたチーム)、エルデスト(50歳以上の女子で編成されたチーム)に至るまで「幅広い年齢層」に親しまれ、愛されているソフトボール。どんな人にもそれぞれに合ったプレイスタイル、楽しみ方があり、実際に球場へ足を運んでみれば皆さんが「一生懸命ソフトボールに打ち込む姿」「心の底からソフトボールを楽しむ光景」に出会うことができる。ソフトボールシーズン真っ只中の、暑い、熱い夏。実際にプレイする選手はもろろんのこと、大会を支えてくれる関係者、球場に訪れ観戦・応援を楽しむ方々にとって「いつまでも記憶に残る」「かけがえのないシーズン」となることを願っている。



今夏は果たしてどんなドラマが!?